

令和8年度 村政懇談会質疑応答集

令和 8年 6月 3日 ～ 7月14日

地区/会場	開催期日	出席者数	男性	女性	地区/会場	開催期日	出席者数	男性	女性
北 阿島北消防センター	6月8日	22	21	1	大和知 大和知公民館	7月3日	19	18	1
町 阿島傘伝承館	6月23日	23	18	5	富田 南部防災センター	6月25日	37	34	3
帰牛原・郭 第一公民館	6月19日	22	21	1	馬場平 馬場平ふれあい伝承館	6月22日	14	11	3
寺の前 寺の前会所	7月14日	15	12	3	両平 両平ふれあいセンター	6月24日	14	14	0
南 南農事集会所	6月15日	36	29	7	田上川 田上川消防センター	6月29日	34	32	2
加々須 加々須区民会館	6月9日	18	17	1	上平 上平集落センター	6月11日	22	19	3
大島 大島公民館	6月3日	12	10	2	伊久間 伊久間農産物加工センター	7月6日	29	26	3
氏乗 氏乗集落センター	6月10日	17	14	3	合計		334	296	38

令和8年度 村政懇談会でいただいたご質問・ご提案・ご感想と村の回答(分野別)

No.	分野	担当課	会場	意見要望等	回 答
1	01 議会・選挙	08 議会選管	北	村から自治会に選挙の立会人の選出を依頼されますが、お断りしてもよいのですか。報酬も最低賃金以下なのはおかしくないでしょうか。	区長・自治会長を通じて立会人を選んでいただいています。地区によって選出方法は異なると思いますが、多くは地区役員等から選出いただいています。引き続き自治会等を通じた選出に、ご協力をお願いいたします。報酬については、国で報酬基準が決められており、それに準じた単価となっています。
2	01 議会・選挙	08 議会選管	寺の前	選挙看板が往来が少ないところにしかないので、地区住民が多く通行する村道1号線に設置してほしいです。	選挙ポスター掲示板の設置数は設置基準に基づき決定しています。設置場所については調整が可能ですので、今後、自治会長や選挙管理委員とも協議の上、検討していききたいと思います。
3	01 議会・選挙	08 議会選管	富田	選挙時の投票時間について、現状は20時までですが、時間の繰り上げを要望しますがいかがでしょうか。	原則、投票時間は朝7時から夜20時までとなっています。喬木村では期日前の投票率が上がっていることもあり、全投票所で夜は19時までと1時間短縮しております。当面、時間帯の変更の予定はありません。
4	02 情報発信	01 総務	北	村からの配布物を組合・自治会で分けるのは大変です。PDF配布にしたいかがでしょうか。DX化の一環としてタブレットの有料貸与も検討してはいかがでしょうか。	地域の負担軽減に繋がるDXの取り組みとして画期的なご提案と捉えさせていただきました。実現に向けた課題等が多数想定されますので、それらの解決策を探りつつ取り組みを検討したいと思います。
5	02 情報発信	01 総務	富田	喬木村地域情報アプリをもっと充実させていただきたいと思います。	地域情報アプリについては、例えばお悔やみ情報やライブカメラ、ごみ収集カレンダーなど運営会社による決まった内容をお知らせする項目にて構成されています。ただ、地域情報や村HPへの誘引等の機能もありますので、誘引先の情報の充実については引き続き充実できるよう取り組んでまいります。
6	02 情報発信	01 総務	富田	村の営業力と情報発信の確立が必要だと思います。	村としてもウィークポイントであると捉えていますので、ご意見を参考に取り組みを進めたいと思います。
7	02 情報発信	04 建設環境	田上川	水道料金の基本料が5月～10月は減免になることをもっとPRしたほうがいいのではないのでしょうか。	2026年3月発行の情報誌掲載をはじめ、6月検針からの検針票に水道基本料が減免されている旨を記載させていただいています。村民の皆様により分かりやすく伝わるよう、今後の情報発信のあり方を工夫してまいります。
8	02 情報発信	06 産業振興	田上川	阿島傘レンタルできるのを知らなかったです。もっと広く知らせたかどうかですか。	この事業は、令和8年度からの事業となります。今後HP等への掲載を行っていきます。なお、補助金の対象は法人又は個人事業主になります。
9	03 防災・消防	01 総務	北	災害時、組合未加入者は連絡がとれず状況の把握ができません。	組合未加入者の方の状況把握が課題であることは認識しております。災害発生時に安否確認等、隣近所での助け合い（共助）は非常に重要であるため、ご近所で顔の見える関係づくりをお願いしたいと思います。村としても組合に加入していただく重要性について引き続き周知・啓発に取り組んでまいります。
10	03 防災・消防	01 総務	北	想定外の災害に対する訓練や、簡易ベッドを使った運動競技、若い人が集まるイベントなど、近隣市町村と情報交換をして防災訓練の企画を考えて行ってはいかがでしょうか。	防災訓練に多くの方が参加していただける方法について提案いただきありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。
11	03 防災・消防	01 総務	寺の前	飯田市では消防団員へアプリを通じて火災情報を周知していますが、喬木村でも同様のアプリを導入できないでしょうか。	今年度、飯田市同様のアプリを導入予定です。

12	03 防災・消防	01 総務	大和知	災害備蓄品のダンボールベッド、テント等について、組立が大変なので、より簡単に組立ができる備蓄品に変えることはできませんか。	昨年度、組立が容易なベッドを各地区に配備したところですが、今までに地区配備したものは手間がかかる物もあるので、今後配備するにあたってはより組立が容易なものを検討していきます。
13	03 防災・消防	01 総務	富田	村が毎年行っている地区防災研修会が形骸化していると感じています。防災に関して言えば、自助に関する取り組み意識が足りないと感じます。全戸に防災マップが配られています、各家庭や常会でも話題にするなど防災意識を高めることについて勧めてもらいたいと思います。	地域防災意識の向上のためにここ数年、地区単位での研修をやってきましたが地区に負担という声もいただきました。今年は県と連携して避難所の実践型研修会の開催を8月に予定しています。地区では、支えあいマップや地区の防災計画など立ててもらっていますが、大事なことは、こうしたことをきっかけにしてそれぞれの防災意識を高めていただきたいということなので、ご家庭一人ひとり、常会1軒1軒でその内容を確認していただき、その上で地区での防災活動につなげていただきたいと考えています。
14	03 防災・消防	01 総務	田上川	災害発生時等（気象警戒レベル）に応じて、具体的にどのような避難行動をとるのでしょうか。例えばレベル3が発令されたら、避難所は全て開設されるのか、それとも順次開設されるのでしょうか。	今年の5月29日から運用が始まった、新たな防災気象情報では災害レベルと避難行動レベルを同じにすることで住民の皆さんがどのような行動をとるべきなのか分かりやすくなりました。村では、防災気象情報などから避難の必要があるか判断して避難指示等を発令します。避難所は、場合によって村でも必要に応じて開設をしますが、原則的には村と連携して自治会に開設をしていただくことから、自治会の判断において避難所を開設することも状況によっては考えられます。
15	03 防災・消防	01 総務	田上川	河川カメラについて、小川川が見られませんがいつになったら見れるのでしょうか。これから台風シーズンになるので早く対応してほしいと思います。また、カメラの洗浄も行い鮮明に見られるようメンテナンスをお願いします。	小川川の河川カメラは、場所を小川渡橋から小川大橋に変更した上で、見られる状態に対応しました。現在の河川カメラの映像は県が設置した河川カメラによるものですが、映像が鮮明でない等不具合がありましたら、飯田建設事務所に連絡し対応を求めます。なお、村が設置した河川カメラについては経年劣化により画像が鮮明でないため、更新を計画しています。
16	03 防災・消防	01 総務	伊久間	現在、小川渡橋が架替え工事で通行できないため、高齢者等の福祉センターへの避難が以前より時間がかかります。早めの避難情報をお願いします。	原則として警戒レベル3で高齢者等避難を呼びかけます。ただ、状況により警戒レベル2の段階での避難が適切と判断した場合には、警戒レベル2の段階で避難情報を出す場合もあります。
17	03 防災・消防	01 総務	伊久間	福祉センターの避難所としての開設は、警戒レベルのどの段階で行われますか。	警戒レベル4までに危険な場所から避難と言われておりますことから遅くともこの段階までには避難所を開設を行うということとなりますが、原則としては警戒レベル3までには開設することとなります。開設は村で直営の場合もありますが、村と連携して地区で開設いただくことが原則です。また、警戒レベル情報により区独自の判断で自主避難所として開設していただくことも検討ください。
18	03 防災・消防	04 建設環境	田上川	台風7号・8号の大雨による平畑地籍の土砂崩れ箇所は、上平地区からの湧水が多い箇所であるため、村でも現地を確認の上、対策をお願いします。	現地確認を行い地権者と協議のうえ、現在対応しています。
19	03 防災・消防	04 建設環境	伊久間	排水ポンプ車の実施訓練は毎年行われているのですか。そうであれば見学したいため、地元向け周知していただきたいです。	昨年の水防訓練の際に実施訓練を行っています。職員の異動があっても対応できるよう、村外の操作講習会に参加するほか、役場内で継承できるよう体制を取っています。防災担当部署とも協議し、今後の実施方法、周知、見学について検討したいと思います。
20	03 防災・消防	05 企画財政	北	災害が発生した場合、リニア工事の作業員はどこに避難するのですか。	JR東海に確認したところ、基本的には阿島北や座光寺にある現場事務所で待機し工事事務所長の指示に従うことになります。民間のアパート等、地元に住んでいる人は当該自治体の指示に従って避難します。

21	04 地域運営等	01 総務	北	組合未加入者が増えています。配布物を配るにも連絡先が分かりません。村に聞いても教えてもらえません。助けてもらえませんか。	個人情報をどこまで出せるか難しい面があります。ご意見を承り検討してまいります。
22	04 地域運営等	01 総務	北	自治会の役員選出や配布物の負担が大きいです。かといって自治会を解散するとコミュニティが消滅してしまうという気持ちもあります。役員になると通知物や会合が頻繁にあり負担の大きさから受け手がないのではないかと考えます。自治会の負担軽減が必要ではないでしょうか。	自治会には地域コミュニティや防災・防犯など重要な役割を担っていただいておりますが、役員選出や配布物、会議などが負担となり、担い手不足につながっていることは大きな課題と認識しています。村としても、持続可能な自治会組織の運営を目指して、区・自治会への依頼事項の見直し、会議や通知の削減、情報発信のデジタル活用などにより、役員負担軽減に努めてまいります。
23	04 地域運営等	01 総務	北	村として自治会活動を積極的に支える仕組みや手当が必要ではないでしょうか。	自治会活動は地域の皆様の主体的な取り組みの上に成り立つことが大原則です。村としてはそれぞれの地域の主体的な活動を支援することとしておりますが、少子高齢化で地域活動の維持が深刻さを増していることは改めて認識しました。ご提案の仕組みの構築、手当の必要性についてさらに研究を進めたいと思います。
24	04 地域運営等	01 総務	北	自治会未加入者の方への連絡の取り方に困っています。役場としても自治会の力となってもらうことはできないでしょうか。	自治会に加入されておられない方にも自治会の情報を届けるためには、郵送以外の方法も含めた柔軟な仕組みを検討する必要があると考えます。自治会情報のデジタル化や役場窓口での情報提供など、様々な方策について、自治会の皆様と一緒に検討していきたいと考えています。
25	04 地域運営等	01 総務	町	地域コミュニティの充実をしていく為に、村の行政がどの様に連携し関与してもらえるのでしょうか。村長も変わり新しい視点で村政を進めていただけるものと期待しています。	地域が自主的に活動する村づくりが「小さな村だからこそ豊かな暮らし」につながると思います。住民の皆さんが自分事と捉えていただき協働していくことが、数字や形では見えない魅力が出てくるのではないかと思います。自治会運営において一番の課題は、未加入の方との不公平感の解消であると思います。行政サービスの受益や災害時の共助なども想定しながら自治会の価値や意義を伝えていきたいと思います。
26	04 地域運営等	01 総務	町	人口減少や高齢化などは自治会の組織を維持していく上で大きな課題となっています。自治会の組織・運営は組合が中心に成り立っていますが、高齢化・独居・施設入所などにより、存続が難しくなり組合を解散するといった事も出てきています。これらは当地区だけの問題だけではなく、村全体で考えていく課題ではないかと考えています。役場でも対策をお考えと思いますが、いかがでしょうか。	自治会や組合については任意団体なので村が運営等に直接介入するのは難しいところですが、自治会に加入していただくような取り組みについては過去からも行ってきました。ただ、明確な効果が感じられないのが現状です。自治会に関しては、「人がいるのに組合・自治会に加入しない」と「高齢化等により組合・自治会の担い手が減少している」という2つのパターンが村内にありますので、それに応じた対策が必要だと思っています。組合数の減少に合わせて無理のないよう意識して自治会運営の検討をしていただきたいと思います。また、中山間地域では、専任型の集落支援員が地域をつなぐ役割として活躍しておりますので、課題解決の糸口等の活動事例を紹介することや、活動の状況により今後支援員の増員も検討できるかと思います。
27	04 地域運営等	01 総務	町	当地区では2年ほど前から自治会の見直しを図り、組合の関係なく分けた年齢別の5つのブロックごとに役員を選出する形に切り替えました。自治会の仕組みでは一番進んでおりスムーズに運営できていると思います。集落支援員が自治会の事務に携わる例を報じた新聞記事にあった他自治体のも参考していけば良いかと思います。	新聞報道の事例も参考にしながら、今年度から配置した専任型集落支援員の活動を通じて、モデル地区のような形で今後村の他地区に広がるような方策等を検討していきたいと思います。

28	04 地域運営等	01 総務	加々須	今後、5年～10年先を見通した場合、住む人の少ない集落になってしまいます。地域の活力も失われていくと心配しています。村から見て取り組めるアドバイスを教えてください。	地区の皆さんがどうしていきたくというものがあって、それに対して村がどう支援ができるかというのが大前提です。今ある仕組みを守ると疲弊してしまうため、役員の数や行事の見直しを検討することも方法です。いかに、無理なく続けられる方法を地域で考えていただくことが重要と考えます。
29	04 地域運営等	01 総務	加々須	高齢化に伴い、山間部での共同作業の継続が困難になる心配があります。中山間地域から人がいなくなると農地が荒廃し、それを引き金として鳥獣被害が下流の地域へと拡大していく恐れがあります。中山間地の世帯減少に対して村がどのような対策を考えているか教えてください。方向性があれば地域からアイデアが出てくると考えます。	前提となるのは地域の皆さんがその地域をどうしたいかということになり、村としてできることは、地域の皆さんが今後も不便なく生活できることを支えることです。水源の山間地を維持していくことは、重要な課題であると認識しています。村も一緒に考えたいので地域として良い案があればご相談ください。
30	04 地域運営等	01 総務	馬場平	馬場宅地造成事業により新組合の創設が望めます。地区でも、組合活動活性化の知恵を絞っていききたいところですが、組合離れの現状は全村的な課題だと思います。他地区と連携した問題意識共有と解決に向け、村の介入なども期待します。	区長会や区会連絡会等の場で各地区の情報を共有しながら、様々な取り組みがあることを紹介し、加入促進につなげることができればと思っています。
31	04 地域運営等	01 総務	田上川	移住を推進し、定住人口を増やしたいという政策をする一方で、河川清掃については地域が主体になって行って欲しいとの回答は、できる人・我慢して真面目にやる人がやればいいという風に聞こえました。若い世代や新しく来た人に対して理解してもらえるような村の取り組みを希望します。	地域活動を理解してもらうには、自治会への加入が一番であると考えます。村では、転入者に対して自治会加入の案内パンフレットを配布しておりますが、自治会加入のメリットなどを充実させるなど、加入を推進できるような検討を行います。災害時の助け合いなども大切ですので、引き続き自治会コミュニティの中でも声掛けにご協力をお願いします。村としても地域活動を理解してもらえる取り組みを行った上で、地域の皆さんの協力的な意識を持っていただきながら、一人ひとりが出来る範囲で活動してほしいと考えています。
32	04 地域運営等	01 総務	田上川	自治会に加入している方と、していない方との間で、加入者へ特典を設けるなどある程度差別した方がいいのではないのでしょうか。	自治会加入のメリットを提示してほしい、といったご意見は大変多くいただいております。地域店舗で使えるクーポンや割引券を提供するなど、地域経済活性化と自治会加入促進の両立を図っている自治体や、災害時の物資配布を自治会加入者優先とするといった自治体もある中で、村におきましても、他自治体の事例を参考にしながら検討を進めていきたいと考えています。
33	04 地域運営等	04 建設環境	氏乗	氏乗地区では高齢化により区民で行う作業がとても大変になってきています。特に禍根除けの滝へ向かう遊歩道整備、河川清掃、県道のアダプト事業の草刈りなどとても大変です。	地区でできる範囲で維持管理活動を行っていただきたいです。
34	04 地域運営等	04 建設環境	氏乗	今までは親が参加していた区の事業について、自分自身が参加するようになりました。草刈り等は朝6時から作業が始まり、ひと月に2回も作業があり、大変過酷であると感じました。氏乗へ移住者を増やしたいけど今のままでは敬遠されてしまうのではないのでしょうか。誰もが住みやすい環境となしてほしいです。	無理のない範囲で活動をしていただきたいので、作業内容については地区で検討していただきたいです。
35	04 地域運営等	05 企画財政	北	組合から脱退する方が増え、自治会が今後立ちいかなくなってしまいます。新しい枠組みが必要に感じます。何か指針となるものと考えていただきたいと思います。	次期の総合計画を策定する中で、区・自治会の課題等を共有するヒアリングを実施します。各地区の課題を聞く中で、将来の自治組織の在り方を考えていく時期が来ていると感じていますので、今後検討を進めてまいります。

36	04 地域運営等	05 企画財政	北	自治会活動の継続のために、地域おこし協力隊に入ってもらったり、大学の研究の場にってもらったりしてはどうでしょうか。	山間部の支援を行っていた地域おこし協力隊員が、今年度から専任型集落支援員になりました。各地区に展開できる可能性があると考えています。学生の学びの場については、令和6年度頃からフィールドワークの場として村に来てもらっています。地域づくりの学びの場になるとよいと考えています。
37	04 地域運営等	05 企画財政	町	阿島傘伝承館、町消防センターの水道光熱費が年々増え、昨年は年間で534,000円になっています。伝承館については、利用者の方々が活動しやすい環境で使っていただきたいこともあり、冷房使用が増えてきているのが要因と考えています。当自治会では現状予算に余裕がなく、水道光熱費は昨年の予算全体の約11.6%を占めています。水道光熱費の補助を検討していただきたいです。	村から阿島区を通じて町地区に自治振興交付金を交付しております。今年度は、国からの物価高騰対策の交付金により水道料金の基本料金の減免を実施しておりますが、電気・水道料金とともに物価が高騰している状況にありますので、令和9年度予算に向けて自治振興交付金の見直しも考えたいと思っています。
38	04 地域運営等	05 企画財政	加々須	専任型集落支援員は加々須でも利用できますか。	今年度から専任型の集落支援員を1名配置しました。地域おこし協力隊としての大島地区でこれまでの活動を継続しながら、氏乗・大和知地区でもお声掛けいただき、支援員にどのようなことができるのか話し合いが始まったところです。加々須地区でのご希望に対しては、まずは区長さんを通じて地域がどのような関わりを望んでいるのか、支援員としてどのようなお手伝いができるのか、具体的な打ち合わせを行いたいと思います。
39	04 地域運営等	05 企画財政	大和知	大和知では小学生以下の子どもがいなくなり高齢化が進んでいます。地区の活性化・高齢化対策を村ではどのように考えているのでしょうか。	現在、大和知地区の高齢化率は50%となっており、高齢化はさらに進んでいくものと考えています。地区として何ができるのか、山間部の地区の支援に入っている集落支援員や地区担当職員を活用いただきながら、地区の皆さまにも考えていただく必要があると思います。
40	05 防犯・交通安全	01 総務	大島	帰牛原広域農道の加々須大橋手前の大島方面から広域農道に出ようとすると、カーブミラーが1つしかないため、かなり前に出ないと見えにくいです。ダンプの通行もあるため危ないのですが、もう少し下でよいのもう1つ設置してもらうことは可能でしょうか。	カーブミラーについては、安協で設置したり、村で設置したりしているので現地確認し、必要であれば対応します。
41	05 防犯・交通安全	04 建設環境	帰牛原	運動公園の外周道路へ団地側から入る道があり、そこには止まれという標示があるので優先道路ではありませんが、直進であるため優先と捉える車があります。その場所へ止まれの標識を設置してもらいたいと話をしたところ、「検討します」という回答をいただきました。検討してどうなったかということについて回答をいただきたいです。	地元の要望で緊急性があるものにはすぐ対応して、お電話いただいた方には回答するなり、地区長さんに連絡することとしています。今回のお問い合わせについては、県道の工事期間中において、迂回路となったため、看板を設置した経過があります。標識の設置については、公安委員会との協議が必要となりますので、改めて地区要望として要望してください。
42	05 防犯・交通安全	04 建設環境	帰牛原	里原から運動公園の方に至る道で常に2～3台の車がずっと止まっています。対向車とすれ違う時にヒヤッとすることもあって、何年前の村政懇談会で意見として出された方がいましたが、その後の対応はについて改めて質問します。	令和6年度にそのようなご意見をいただいて、対象の方と連絡を取り、当時は改善していただけたらとお話をいただきました。今回の質問もあり改めて本人に確認の連絡をとりたいと思います。今後も改善が見られない場合は、「駐車ご遠慮ください」などといった看板を設置したり、それでも続くようなら警察に通報する措置をとりたいと考えています。
43	05 防犯・交通安全	04 建設環境	大島	帰牛原広域農道の加々須大橋手前の大島方面から広域農道に出ようとすると、花桃の木が邪魔で向こうが見えないです。	現場を確認しますが、道路敷に出ていて見通しが悪い場合、所有者の同意のもと切る対応を取ります。
44	05 防犯・交通安全	04 建設環境	大島	カーブの先に駐車する車が毎日あり危ないです。	村道であれば該当の方に伝えた上で対応を求めます。

45	05 防犯・交通安全	04 建設環境	田上川	平畑地籍へ至る村道559号線の安全対策については、フェンス等は設置されたものの、ガードパイプ設置により完了と聞いていたところ、一向にガードパイプが設置されませんがどうなっているのでしょうか。子どもが通りますが、歩道にはみ出してダンプが通行するなど危険であり早めに対策をお願いします。	安全対策については、いただいているご意見を踏まえ庁内で検討しています。ダンプの通行については、関係団体を通じて安全運転をお願いしてまいります。
46	05 防犯・交通安全	07 教委	梶牛原	元からある小中学校に加えて保育園が梶牛原に出来たこともあり、送迎の保護者の車の交通量が数年前より圧倒的に増えています。私たちも通る際には、すれ違いが大変怖いと感じます。今現在、大きな事故はないのですか。	近年、大きな事故は起きていないと承知していますが、一部、保護者の運転する車のスピードが速く危険に感じるとのご意見はいただいております。学校は校長を通じて、保育園は園長を通じて安全運転の徹底の周知をお願いしています。
47	06 役場業務・職員	01 総務	富田	役場職員について、仕事ができる職員とできない職員の差が大きいと思います。先々を見据えてやってくれる職員もいればそうでない職員もいます。人事異動の際「またあの人が担当か」との声を聞くこともあります。係長職で特にそう感じます。職員の教育が必要と感じています。	ご意見ありがとうございます。研修などを通じて資質の向上に努めたいと思います。
48	06 役場業務・職員	01 総務	両平	定年延長や、定年した後でも会社勤めの方も増えておりますが、そうした方が自治会長・地区長になった場合、平日の昼間の会議・研修などほとんど出られない状態になります。平日の昼間の会議などの改善を望みます。	会議等は主催する課で設定しています。日時の設定等で昼間でなく、夜に行えるものについては変えていきたいと思っています。
49	06 役場業務・職員	02 住民窓口	梶牛原	過日届きました令和8年度村民税等の通知書が、インクのせいか字体なのか文字の大きさなのか見にくいと感じました。	納税通知書の文字の大きさについては、基幹業務システムの標準化により国で統一されたフォーマットにて行ったことによるもので、喬木村だけでなく他の自治体でも同様の苦情があるということを把握しています。国へ改善要望等を行いたいと思います。文字の色等は変更できる余地がありますのでご意見を参考に検討したいと思います。
50	06 役場業務・職員	02 住民窓口	両平	令和8年固定資産税（土地・家屋）課税明細書の書面の字体が小さすぎて読めません。あえて小さく表示するための目的があったのでしょうか。見やすくするための対応をお願いしたいと思います。	国の仕様によるものとなります。これまではそれぞれの自治体での様式等に対応していましたが、国が進める全国共通の仕様とするためのシステム標準化を村でも導入したことによります。しかし、今回のご意見を踏まえまして、仕様を変えてもらえるよう国に要望してまいりたいと思います。
51	06 役場業務・職員	02 住民窓口	田上川	今年度の固定資産税納税通知書の文字が小さすぎて読めませんでした。DXを村で推進していると思いますが、住民がDX化の恩恵を享受できるように進めることが大切ではないでしょうか。	文字が小さくなってしまったのは、基幹業務システムの標準化によるものです。標準化では、自治体ごとにバラバラだった仕様が統一されました。国が示したフォーマットどおりに行ったところ文字が小さくなり、喬木村だけでなく他の自治体でも同様の苦情があるということを把握しています。このことで他にも使いにくくなったことがありますので、国へ改善要望を伝えて参りたいと考えています。
52	06 役場業務・職員	05 企画財政	寺の前	ワークショップ等の意見集約の場は多いけど、その意見が形として感じ見にくいので、形になったときに何の取組の由来なのか明確にしてほしいと思います。	今後若者会議を開催していく予定ですが、その提案を実現するには、取組の由来や検討までの過程などの情報共有ができる仕組みづくりを進めてまいります。

53	06 役場業務・職員	05 企画財政	加々須	地域おこし協力隊の意義と村への定着率を教えてください。	地域おこし協力隊は、自治体が受け入れを行い1～3年の間、村が求めた地域の活動に従事していただくもので、活動を通して定住や地域の活性化を図ることに意義があるところです。村が現在雇用している任用型の協力隊は8名です。これまでの定着率は46%で、県の平均定着率が60%なので県に比較すると低い状況です。
54	06 役場業務・職員	05 企画財政	富田	地域おこし協力隊について、アウトプットが弱く何をやっているのかわきません。地域社会との接点も弱く、その結果として活動実績も弱いのではないのでしょうか。常日頃から協力隊の方々には具体的に集落での生活・社会を体験、交流を図るなどの地域活動に参加していただくことは、良きに付け悪しきに付け互いに得るものがあると思います。がそういった取り組みはいかがでしょうか。	現在、地域おこし協力隊は10名、集落支援員1名が活動しており、それぞれ阿島傘や農業振興、イベント開催、集落支援などを担っています。活動については、毎月発行する情報誌での活動報告や協力隊のHP、いちごチャンネルを通じた活動報告などを行っているところです。ただ、活動に対する広報周知が行き渡らずどうお知らせするかは課題と捉えていますので研究を進めていきます。地域の祭りや地域のイベント、作業への参加は、地域の生活や社会を知る上で得るものも大きいため、今まで以上に参加できるよう呼び掛けていきます。ぜひ富田区からもお声がけをお願いします。
55	06 役場業務・職員	05 企画財政	富田	地域おこし協力隊の皆さんは、沢山の中か喬木村を選んでくれた村にとっても価値ある人たちなので、任期が終わった後には村に残ってほしいと思います。任期後にいかに村に残っていただくか、村としても対応をしてほしいと思います。	地域おこし協力隊の任期後については、引き継ぎ喬木村に在住の方の割合が46%となっています。長野県平均は約60%なので少し低い状況です。農業従事型の協力隊員に限って言えば100%村に残っている状況です。任期後は他の地域で興味のある活動を行いたいという希望もあり、全ての方というわけにはいきませんが、今活動している任用型の協力隊員8人には、なるべく任期後に喬木村に残ってもらえるようにしたいとは思っています。
56	06 役場業務・職員	05 企画財政	上平	ファウンディングベースという会社が村の企画の中心にあるように思えるのですが、どんな会社なのか、規模・実績・参入の経緯等を教えてください。	(株)ファウンディングベース（(株)FoundingBaseが正式表記）とは、令和7年度村との間で包括連携協定を締結し、むらづくりに関する事業を共に展開しています。事業内容としては、関係人口創出・移住定住・シティプロモーション・遊休地の利活用などの取組を行っています。ファウンディングベースはシティプロモーション・観光事業・教育事業等を全国28の自治体で展開しています。そのような実績を見て、包括連携協定を締結した経緯です。
57	07 人口減少対策	03 保健福祉	氏乗	都市部での事情があり、実父母と生活できない子どもを受け入れる里親制度の充実に力を入れてはどうでしょうか。子どもが増えれば少しは活性化し、子どもが大人になったときに村に貢献してもらえるのではないかと思います。	里親への委託は、次の3つの理由から、原則として同一地域の児童相談所管内とされています。1点目は子どもの環境変化を最小限にする、2点目は実親との面会・交流の維持、3点目は児童相談所のサポート体制を維持するためなどの理由によるものです。それが難しい場合には同一都道府県内とされています。ご提案の都道府県をまたいだ広域里親は、特別な事情がある場合に限られていますので、現状としては難しいものと捉えています。
58	07 人口減少対策	04 建設環境	氏乗	地域コミュニティ・行政効率化のためにも、役場周辺に集合住宅を建てて定住を促したらどうでしょうか。	ご意見として承ります。
59	07 人口減少対策	05 企画財政	北	コロナ禍を経て、大企業のリモートワークが定着してきています。大企業に勤務している飯伊出身者を呼び寄せてはいかがでしょうか。また、リモート出勤者への住宅補助や通勤手当の補助をしてはいかがでしょうか。	リモートワークが広がる中、村内に整備されたサテライトオフィスを利用いただけるための取組を実施しています。この地域の出身者に声をかけていくことも大切と感じていますので、ふるさと会やふるさとnetを有効活用してまいります。
60	07 人口減少対策	05 企画財政	富田	村外からの移住者を期待する前に、いかに村民を流出させないかと考えるべきではないかと思います。	やむを得ず転出する方以外の皆様については、喬木村に住んでいてよかったと思えるような様々な施策について取り組んでまいりたいと思います。

61	07 人口減少対策	06 産業振興	氏乗	村への大きな工場の誘致をし、職場の確保により移住者の増加を目指してほしいです。 通勤時間短縮のため村外へ出ていく若者が多いです。	職場の確保や移住者の増加への施策としての企業誘致等については、村のみでなく広域で取り組み等が必要だと考えています。村としても、土地の確保等課題もありますが、積極的に取り組みをしていきたいと考えています。
62	07 人口対策	06 産業振興	上平	村の子育て支援がここまで充実していることを知りませんでした。こういった手厚い支援をしていく予算からみても、村民が減っている今、企業を呼ぶことを考えていただきたいです。	人口減少対策としての企業誘致は、村のみでなく広域で取り組み等が必要だと考えておりますが、村としても、積極的に取り組みをしていきたいと考えています。
63	08 村づくり	01 総務	町	村政懇談会の出席に関して、自治会役員のほかは一般参加者が数人で、しかも高齢者が多く若い世代の参加がほとんどないのが毎回の状況となっています。次世代を担う若い世代がもっと村政に関心を持ち、積極的参加しないと村の将来も危ぶまれる気がします。自治会としてもこの状況を打開するための策を考える必要がありますが、村としても重要な課題であると考えます。	村政懇談会の参加人数につきましては、開催周知に課題があるとすれば工夫をする必要があると感じます。ご意見のように特に若い方々に村政自体にも関心を持っていただけるにはどんな方法が良いのか検討したいと思います。
64	08 村づくり	01 総務	富田	前村長は国の施策に忠実な運営を行い、議会答弁や行政判断も同様でした。社会状況は、子供の自殺、孤立、食料、外国人問題、極端な経済二極化等々長年の国の施策の結果が現状に現れているように思います。中でも、教育、農業、食料、経済的な問題は我が村でも重要な問題だと思います。地方自治体は法の範囲内で独立した行政権があると思いますが、それらの問題に対する村政の施策運営について、十分な議論が聞こえてきません。これらを踏まえ、佐藤村長の考えをお伺いしたいと思います。	国の施策については、国民の行動の結果でありますので言及は控えますが、国に忠実した村政というのは一部大事なことだと思っています。自主財源が乏しい中で、国の制度や補助金を効果的に活用しながら事業を実施すること、これが住民に責任を持つことだと思っています。国に抗うでもなく迎合するでもなく、地域や住民の暮らしをより良くしていくことを目指していくつもりです。施策展開にあたっての議論が伝わらないということですが、議員の皆さんにも建設的な意見を頂きながら議論しているところですが、それらをどう伝えていくかは課題だと考えています。
65	08 村づくり	05 企画財政	町	若い方のプロジェクトチーム（たかぎみらいプロジェクト）がありますが、元気な高齢者も沢山いるので、シニアのプロジェクトチームやシニアと若い方が一緒に活動するプロジェクトを組織していただければいかがかと提案します。	ご提案ありがとうございます。様々な経験を積んできたベテランの皆さんと若い皆さん交流の場を提供することは大切なことだと感じています。早速、そのような機会の構築を進めてまいります。
66	08 村づくり	05 企画財政	町	今まで参加することなくしてしまいましたが、村のことは誰かがやってくれる・役場の人がやってくれるのではなくて、村の1人1人がどんな村にしたいのか主体的に考えなくてはいけない、ひとごとではいけない、と思いました。	貴重なご意見ありがとうございます。村内で様々な団体の皆さんが活動を行っていただいておりますが、その活動を知っていただくこと、活動に参加すること、さらには活動を主催したり運営したりと、まずはご自身のできる範囲での参画が大切であると感じています。
67	08 村づくり	05 企画財政	加々須	民間委託している地域おこし協力隊の意義を教えてください。	村の魅力発信等に対するノウハウ不足や積極的な営業活動、また村の魅力を効果的にアピールすることは役場職員は不得手でした。このため、村の魅力発信や共創施設PERCHの利活用による関係人口の創出によるシティープロモーションをお願いするため、昨年から㈱ファウンディングベース社と包括連携協定を結び、地域おこし協力隊として3名が活動しているところです。
68	08 村づくり	05 企画財政	大和知	次期総合計画策定に係る住民ワークショップを6～7月に開催することですが、どのように開催するのでしょうか。	7月8日に共創施設PERCHでの開催を予定しています。中高生6人、大人13人の計19人の応募があり、当日は総合計画の将来像やキービジュアルの要素のアイデア出しを行います。周知については、公式LINEと公共施設でのポスター掲出、昨年度のワークショップ参加者への個別通知等を行いました。

69	08 村づくり	05 企画財政	富田	総合計画策定の中で住民ワークショップはとても大事なことだと思うので、年代・性別を問わず、自由に意見を出し合うことで将来の道筋が見えてくると思います。	7月8日に総合計画の将来像やキービジュアルを作るための住民ワークショップを開催しました。中学生から70歳代まで年代・性別も様々な方が、喬木村の未来について話し合っていました。今後も若者会議等の開催を予定していますので、若者を中心に様々な年代の方が語り合える場をつくってまいります。
70	08 村づくり	05 企画財政	田上川	最近単発のイベントなどが村内で行われていますが、これらに対し村の総合計画の評価を行う仕組みはありますか。	計画審議会で各分野の代表の皆さんにより総合計画の評価を行っています。人口減少に対する施策をまとめた総合戦略も計画審議会により評価を行っていただいております。これらを次の年の計画に反映させています。イベントの実施個別の評価項目はありませんが、関係人口の創出というくくりの中でどのくらいの方が村に来たのか、移住した方がどこから来たのか等の分析を行い計画に反映させてゆきます。
71	08 村づくり	05 企画財政	田上川	行政評価の結果が住民にわかりやすい形で届くようにしてください。	評価の結果は村のホームページに掲載をしておりますが、村の情報誌に掲載する等さらに身近な形で皆さんにお届けできるようにします。
72	08 村づくり	05 企画財政	伊久間	飯田市、松川町、高森町では都市計画を作っていますが、今後喬木村でも作る予定はありますか。	喬木村は都市計画の策定が必要なエリアに含まれていませんので都市計画は策定していません。ただし、村では土地利用計画を令和3年度に策定しているものの、かなり大雑把なものであるため、都市計画に類似した計画について現在検討を進めています。また、村は下段地域があまり広くなく、既に住宅がたくさん建てられているため、うまく利用できる土地が少ないという状況です。今後、地域の土地の利用の仕方について、まずは下段地域から地元と協議を進めていきたいと考えています。
73	08 村づくり	05 企画財政	伊久間	関係人口の創出に係る事業は、全国の自治体で行われていると思いますが、この事業に係る村独自のセールスポイントは何ですか。	共創施設での活動やブランドデザインの整備が村独自と考えます。それらを通して、地域に住む人が地域の魅力を知っている状態にする取組み「シティプロモーション」を進めていきたいと考えています。また、今後「若者会議」という取組みを展開していく予定です。若い世代の方に村政に加わっていただき、ベテラン世代の皆様にも参画いただいて、多くの世代の皆さまに交流いただきながら村政に関わっていただきたいと考えています。
74	08 村づくり	05 企画財政	伊久間	徳島県神山町では「神山まるごと高専」が誕生し、民間企業の支援が充実し、地元企業への就職率も高まることで、「ウインウイン」の関係ができています。喬木村も高速交通網が完成した暁には同様のケースに近い、喬木モデルが発展していくことを希望します。	ご意見として承ります。
75	08 村づくり	05 企画財政	伊久間	長期ビジョンが見えません。例えば2050年に喬木村はどうなっていたのか、もっと明確にしてそれに向かって進んで行きたいです。若者の未来プロジェクトはSNSでもっと発信してください。「感動よ、つなげ」意味があるかわかりません。支え合いをベースにした少子化対策が押し付けになってしまうと逆にウザイと感じる方も多数いると思います。	ご意見ありがとうございます。今後の村づくりにあたり参考にさせていただきます。
76	09 公共交通	05 企画財政	寺の前	コミュニティバス郭・寺の前線が寺の前平太夫様前まで来て戻っていますが、その先まで来て回転して戻っていただけませんか。足が悪く下り坂を下がっていけないので要望します。	11月からオンデマンド交通の実証事業を実施します。オンデマンド交通では事前予約が必要ですが、決められたバス停ばかりではなく、乗降場所をご自身で指定できますので、ぜひご利用ください。

77	10 河川・井水	04 建設環境	北	村道115号線の土井場沢川橋から花みづき交差点と、112号線の花みづき交差点から竜東井合流までの排水路の改良について、今後の工事実施計画を教えてください。	村道112号線の排水路改良工事は、令和8年度予算に計上して工事を実施します。物価高騰の中、工事費用を抑えるために、早期の発注に努めてまいります。村道115号線は今年度の実施予定はありません。
78	10 河川・井水	04 建設環境	北	県に要望している土井場沢の堆積土砂の撤去をお願いします。	要望活動をこれからも継続してまいります。
79	10 河川・井水	04 建設環境	北	井水組合の合併等についての相談に対する村の担当部署はどこですか。	井水自体の相談は建設環境課になりますが、井水組合の合併等については村が助言する立場にありません。組合同士で話し合ってもらった上で決めいただく必要があると思います。
80	10 河川・井水	04 建設環境	埴牛原	埴牛原井水について、数年前にも意見が出た経緯がありますが、危険箇所の根本的対策を講じる必要があると思います。自治会だけでは対応が不可能な状況が多々あります。村として進展性をもった対応があればお聞きしたいと思います。 掛口に降りていく際に上り下りの労力を感じる以上に、岩が落ちてきそうな危険箇所があります。作業はしないといけませんが、地震があればいつ落ちてくるか分からない危険な場所で、数年前は作業中に落ちてしまってケガをされた方もいました。それからは保険に加入したものの、何かあったときの補償としては額が小さく不安です。新しい方も増えて、仲間に入って作業してくれていますが、命に関わるような危険な状態のところに身を運ばないといけないので、そこが何とかならないかと思っています。	村が埴牛原井水をどうするかということではなく、井水管理者の方々がどう考えてどうしたいかという提案をいただかないと対応は難しいと思います。埴牛原井水は農業用水になりますので、耕作をする方が直接の一番の受益者となりますが、宅地や村の道路の雨排水機能も井水に担ってもらっています。道路の排水機能がありますので、施設改修という部分について村が補助をしているということをご理解いただきたいと思います。 これからどう進めていくかという点については、危険箇所に手すりを設置するとか、点検の回数を減らすために遠隔確認機能を有した設備を整備したり、或いは維持点検を業者に依頼するという方法もありますが、これらは電気を引いたり河川協議が必要だったり、金額もかかります。そうした場合、村も補助事業として対応しますが、組合にも負担がかかりますので、井水の負担金を増額しながら積立等により組合側も備える必要があろうかと思います。休日の朝早くからのボランティア作業には相応の報酬を支出する方法もあります。地域の中で検討事項を詰めていく中でご相談いただきたいと思います。
81	10 河川・井水	04 建設環境	埴牛原	井水の管理は受益者の方でということですが、組合に入っていない方も家の雨水排水を流すための受益者として、当然管理に要する費用を支払う必要があるということも十分考えられます。 そのあたりについて、村や自治会から、地域に家を建てた人たちに自治会に協力してほしいとか、せめて最低限の会費を納めるとかを、強制はできないにしても強く言うようなことはできないでしょうか。	自治会費を集めて、それによってその地域の皆さんがいろんな自治会事業を協力しながらやっているのが一般的な自治会運営だと思います。自治会の規約の中に、自治会費のことや自治会活動について謳われているかと思うので、そこを確認して未加入の方に自治会費を納めてくださいということ伝えてゆく必要があるかと思います。出不足金を徴収したりする自治会もあると聞いておりますので、地域のルールについては自治会の中でルールをまとめていただいてご対応いただきたいと思います。
82	10 河川・井水	04 建設環境	埴牛原	井水の取り入れ口が、雨が多くなると土砂が流入してうまく水が流れず、そのために緊急で作業するということが年に数回あります。根本的に取り入れ口に土砂が入らないようにできないかと思いますが、どのように考えたらよいですか。	川から取水している以上、土砂が流入する可能性は排除できないと考えます。いかに点検回数を減らすか等は現場を確認して検討・判断することになりますが、定期的に危険な場所で作業をされるのではなく、何年かに1回は業者へ委託する計画を立てられるのが一番よいかと思います。
83	10 河川・井水	04 建設環境	寺の前	伊久間原（大原）で水路工事が施工されるようですが、なぜ果樹作業を行っている時期で施工する発注となったのですか。	周辺地権者や伊久間区と協議をして決めています。果樹作業などしっかりと地権者から把握したうえで、工期を設定したいと思います。

84	10 河川・井水	04 建設環境	郭	郭地区では井水のことを「御用水」と呼んで皆で愛情を持って管理しています。手掘りのトンネルが2箇所あり、毎年掃除の時期になると泥出しをどうするかという話になり、危険な箇所なためおっかなびっこり作業をしています。 トンネル内の作業は危険を伴うので、業者に頼めないかという相談と、地区で業者に頼むとなった場合に村で補助していただけるのか、補助がある場合は補助率は何%なのかをお聞します。	昨年度、御用水の担当の方から相談があった際に長野県土地改良連合会の職員が現地を確認し、索道内に黒パイプの敷設する案と、加々須川側に迂回した水路を作る案2つの提案をしています。ただ、河川への迂回案では河川協議、河川占用が必要となり、対応が難しいので黒パイプ敷設案でどうかと提案したものの、いい印象を受けずに現在に至っているとお聞きしています。黒パイプの敷設案は村の原材料支給制度により費用を抑えて対応できますが、将来的に管理を続けるためにしっかり補修をする準備を進めていくことが必要かと思ひます。村からの補助については、受益者負担の原則もあることから100%の補助はできません。通常の維持管理については、業者に頼むのも井水組合になりますし、今後色々な検討が必要だと思ひますので、実施に当たりご相談したいことがありましたら建設環境課へご相談いただければと思ひます。
85	10 河川・井水	04 建設環境	馬場平	自治会で小川川河川敷の草刈りをしましたが、刈った草が毎年そのままになっています。村で回収していただくことは可能ですか。	村での回収はできませんので地区での対応にてご理解をお願いします。
86	10 河川・井水	04 建設環境	田上川	小川川の河川清掃について、過去には子どもが川に入ることも多かったりして、河川清掃を行う意味を理解しながら当たり前のように思っていた地区で実施してきました。しかし、今の若い世代の方からは河川清掃を行う意味がわからない等の意見が出ることもあり、それに対する説明ができません。こうした発言やそれに対する応答等はどのようにすればよいと思ひますか。	河川へ雨水を流したり、井水へ水を取り入れたり、防火用水など河川は少なからず地域住民に受益があるものと思ひています。こうしたことにより、河川も含め地域の施設は、地域で管理して守っていくという考えのもと行っていたいておりますが、高齢化等で担い手が減少し、以前と同様に実施することが難しくなっている地区もあります。引き続き地域で守っていただきたいと思ひますが、以前と同じやり方が困難になってきた場合は無理をして実施するのではなく、今できる範囲で実施していただくようお願いいたします。
87	12 三遠南信道事業	04 建設環境	北	三遠南信道の開通はいつになりますか。	三遠南信自動車道については、飯田国道事務所からははっきりとした開通見込みは聞いておりません。仮称氏乗インターの建設だけでも2~3年かかる見込みです。今後も国に対して早期開通の要望活動を継続してまいります。
88	12 三遠南信道事業	04 建設環境	寺の前	三遠南信自動車道の橋木工区はいつ頃完成する予定ですか。また全体の進捗率は何%程度ですか。	橋木工区の全区間が工事着手となってはいますが、いつ頃完成するかは示されていない状況です。また全体の進捗率についても、把握できておりません。
89	12 三遠南信道事業	04 建設環境	大和知	きのこを採りに行く際に、昔は矢筈トンネル付近に車を止めて山に入っていましたが、今は三遠南信自動車道により横断することができません。村として対処していただけるのでしょうか。	40年以上前のことで経過が不明であり、また所管が長野県であるため、村での対応はできません。
90	13 施設等整備	04 建設環境	北	田中下の新しい水源地の状況を教えてください。	現在、設計・申請の段階です。申請が通った後に地元説明会を開催し事業を進めてまいります。
91	13 施設等整備	04 建設環境	加々須	土捨場整備の候補地について、その後の動きはどうですか。候補地がなければ、大沢地区はどうかと提案します。	村が想定する候補地について現在調整中です。

92	13 施設等整備	04 建設環境	上平	喬木カントリーに向かう道が狭いように感じます。人を呼ぶように活用するにはもっと広い道を作った方が良いと思います。	施設ができてからでないと全体像が分からないので、施設の概要がわかりましたら、ご意見をいただきながら考えていきたいと思っています。
93	13 施設等整備	04 建設環境	伊久間	排水ポンプ車の車庫が配備され迅速に対応できる状態になっていますが、樋門周辺の整備進捗状況についてお聞かせください。	現在、天竜川上流河川事務所と協議中です。該当箇所の補償及び用地の件については地権者と話ができていますため、河川協議の許可が下り次第、着工となる予定です。
94	13 施設等整備	05 企画財政	北	喬木カントリー跡地の活用計画について教えてください。	「観光、宿泊の拠点施設」という大枠の中で、民間企業から計画を提案してもらい活用方法を検討していきます。すでに複数の民間企業から提案をいただいています。詳細なエリアが決定しないと民間企業も計画立案ができないため、まずは村で用地取得を今年度行います。
95	13 施設等整備	05 企画財政	北	喬木カントリー跡地の活用について、用地取得をする前に活用計画を立てることが先ではないでしょうか。	用地が決まっていないと民間企業も提案ができません。村の管理ではなく民間企業主導で運営をしていただけるよう、用地取得に先行して取り組んでいます。
96	13 施設等整備	05 企画財政	氏乗	喬木カントリークラブ跡地活用事業について方向性を知りたいです。	観光、宿泊ができるアウトドア施設での活用を想定しています。民間の複数の事業者から活用案の提案をいただいているところです。今年度はそのための準備として用地測量や用地取得等を行います。秋までには民間事業者から活用内容の提案をしていただき、具体的な話になったところで村民の方へ説明を行う予定です。
97	13 施設等整備	05 企画財政	氏乗	喬木カントリークラブ跡地活用事業について温泉施設を加えてくれると嬉しいです。	要望として承ります。
98	13 施設等整備	05 企画財政	氏乗	喬木カントリークラブ跡地に村営温泉のようなレジャー施設を作り、食事と取れるところができればいいと思います。	要望として承ります。
99	13 施設等整備	05 企画財政	両平	喬木カントリークラブの跡地利用について、今後有効に活用するためどう考えているでしょうか。地元住民にはある程度の説明が必要ではないでしょうか。	観光・宿泊事業を念頭にした整備を検討している段階です。民間の複数の会社から事前提案をいただいています。住民の皆さまには秋頃に説明会を設ける予定です。その頃にはある程度具体的な方向性がお示しできるものと考えています。
100	13 施設等整備	05 企画財政		喬木カントリークラブ跡地利用について、夜の明かりや音を感じてしまう距離、道路についても主要道が一本などキャンプ場等レジャー施設にするには住家などの生活圏に近いのがネックに思います。	ご意見ありがとうございます。事業運営の参考とさせていただきます。
101	13 施設等整備	05 企画財政	田上川	喬木カントリークラブ跡地の利用計画について、活用の方向性は決まったのでしょうか。	観光や宿泊事業を中心に考えており、その計画については複数の民間企業から事前提案を受けております。10月にかけて活用案の公募を行う予定です。村としてはアウトドア施設とする方向で検討していますが、約12haで高低差がある広大な土地であるため、まずはクラブハウスがあった平らな段から開発をしてきたいと考えています。
102	13 施設等整備	05 企画財政	田上川	喬木カントリークラブ跡地の奥は、小川耕地財産区や個人の葎山が多数あります。新しく整備する施設の利用者が立ち入ったりすることがないように配慮をお願いします。	しっかりと対策します。

103	13 施設等整備	05 企画財政	田上川	喬木カントリークラブ跡地活用事業ということで、令和8年度当初予算に9,210万円という大きな金額が計上されておりますが、地元の説明が足りないと感じます。小川区全体に情報提供をすることが大事ではないでしょうか。莫大な費用がかかる事業なので慎重に進めてください。	地権者・地元の皆様向けの説明会はこれまで3回ほど開催しています。他地区からも「住民の皆さんの意が汲まれたものになるのか」という心配の声もいただいておりますので、住民皆さんからご意見をいただく場を作りたいと考えています。特に地元である小川区の皆さんに対しては、そうした機会を早めに作れるようにやっていきます。また、上平地区で、地域全体でどうしていくかを考える機会を設けると聞いておりますので、村も参加しながら多くの意見を反映できるようにします。地元の皆さんの理解なくできる事業ではありませんので、理解いただいたうえで進めていきたいと考えています。
104	13 施設等整備	05 企画財政	田上川	喬木カントリークラブ跡地の利用計画について説明をいただきましたが、漠然としていてよくわからないので、具体的に何をするのか教えてください。	以前から廃業後の喬木カントリークラブの跡地利用を考えてほしいと意見が村に多く寄せられていました。宿泊施設が村にないことや農業観光が盛んであることなどといった村の現状を踏まえて、どのような利用ができるかということをつかの企業から提案していただき、具体的な方向を決めていく段階となっております。
105	13 施設等整備	05 企画財政	田上川	村が開発しようとしている土地は、元々ゴルフ場であったものの、採算が取れず閉鎖され、その後荒廃している状況です。今回の村の事業に将来の見通しや展望はあるのでしょうか。大きな事業費を投じた結果、ダメだったということは通用しないと思います。	事前提案をいただいている事業者も、元々ゴルフ場としての造成をされており魅力的であると、現地を確認した際に言われてます。村ではなく、なるべく民間事業者の投資で行うことができる事業となるよう今後の提案や事業者の見極めをしっかり行います。
106	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリーの跡地利用は、三遠南信やリニア中央新幹線の開通を見越した、喬木村の戦略的なグランドデザインがなければ成功しないと思います。都市計画を成功させた人達と一緒に戦略的な計画を立てる必要があると思いますが、いかがですか。	喬木カントリー跡地には多くの方が関心を寄せており、現時点で2社から活用の提案をいただいています。村で作成した基本計画に中期計画のリターン等も記載し収支が整うか見極めながら事業を進めていくつもりです。三遠南信道やリニア中央新幹線が開通した際には、より集客が増えるような計画を立てていきたいと思っています。
107	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地については、役場だけではなく地域住民の意見を取り入れていただき、納得した形にしてもらうことはできないですか。	地域住民の協力なくしてできない事業だと思いますので、意見をしっかりと反映していきたいと考えています。地域の意見を集約できるように役場の方でも方法を検討したいと思っています。
108	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地活用は壮大なプロジェクトだと思うので必ず成功させて欲しいと思っています。地域住民にも十分説明した上で進めて欲しいと思っています。	今まで説明会を2回行っていますが、地権者が中心で地域住民の参加は少なかった印象があります。情報提供をどのような形で行うべきか考えていきたいと思っています。また、情報提供だけでなく、どのような提案がでているのか皆さんと共有できる機会を作っていきたいです。
109	13 施設等整備	05 企画財政	上平	過去に喬木カントリーのリニューアルを検討しましたが、上手くいかなかった経験があります。せっかくこのような物を作るのであれば、よりよいものにして欲しいです。	確実に100%成功するとは言えないですが、少しでも喬木村に人が集まるようにしたいと思っています。地域の皆様からもアドバイスをいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
110	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地活用に関する工事が始まるとダンプカーなどの大型車両が通り、通行が非常に危険になると思います。工事に入る前に道を整備する計画も必要になってくるのではないですか。	工事の規模や建物の位置が決まってくると、地域住民の方にご協力を求めることが出てくると思います。地域にご不安やご不便をおかけないように進めていきます。

111	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地事業については、事業をいかに持続していけるかということが大切だと考えています。村がどのような基準で事業を任せる企業を選定していくのか意見を伺いたいです。	事業をお願いする業者はプロポーザル（提案型）方式で決めますが、これは村が求める基準を設け、その基準に対しどれくらい達成しているのか点数を付けるものです。その基準の中には、どのような人を呼んでくるのか、1年間に何人の集客を計画しているのか、どういう施設を整備するのか、どのような収支計画なのかなどそういったものを設定します。審査員は基本的には役場職員が担うことになりますが、このような事業のノウハウは役場の職員はなかなか持っていないので、審査をどのような所に依頼するかそういった所もこれから判断していきたいと思います。役場としては、これが本当に実現可能なのかを見極め、企業を決めていきたいと思っています。
112	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地に関する次の説明会が11月に予定されているとのことですが、それだと民間事業のプロポーザル審査は終了してしまっており、住民の意見を取り入れる余地がありません。住民も事前に細かい計画を知る機会を得ることはできますか。	住民の皆さんの思っていることを把握し、反映していくためにはどういう進め方が良いか検討しています。説明会は計画が決まった後ではなく審査までの間に、開催したいと考えています。
113	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地活用事業に関するスケジュールは決定事項ですか。	村としてはこのように事業を進めていきたいという案になります。用地取得や用地測量、井戸の掘削作業は決まったスケジュールですが、令和9年1月以降の造成計画や来年度の施設の整備計画は業者が決まらないとスケジュールが進まないため案になります。
114	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地の買収について、用地測量の杭打ちは地権者は了承しているのですか。	基準点の設置については、お願いという形で通知しています。仮杭の設置につきましては、用地交渉後に予定しておりますが、仮に駄目だという連絡があれば、また役場から相談させていただきます。
115	13 施設等整備	05 企画財政	上平	喬木カントリー跡地利用の事業に関しては、不信感しかありません。中原の共創施設PERCHを整備した時もそうでしたが、民間企業が運営しており、喬木村民は詳しい内容を全く把握していません。先程から喬木カントリー跡地の運用方法の説明会を開催すると言っていますが、全員を集めて説明することも難しいと思います。一番気になったのは、村が補助金が出るためこの機会を有効活用しようとの発言があったことです。その補助金は国民の税金です。成功しなかった場合も税金で補填されます。不信感しか抱けません。	共創施設の整備等に関して村としては情報を公表しつつ事業を進めてきたつもりでしたが、住民の皆さんへの情報が行き渡らなかったことに関しては村の責任があると思います。共創施設に関してはお金を稼ぐための施設ではなく、村民だけでは解決できない問題を外部の人材を活用し、解決に向けて一緒に考えていくために使う場所としています。喬木カントリー跡地についても、魅力的な自然を活かした宿泊機能がある施設が必要だと思って提案してきました。ただ、自治体が運営していくのは難しいことだと思っていますので、村の考えに賛同してくれる企業を募り、企業の資金や人材を活かして運営する方が良いと考えています。提案企業に対し皆さんの思いを伝え、その思いを反映していただき、その中で収支をしっかりと出してくれる企業を選びたいと思っています。こういった事業は地元のご理解とご協力なくしてはできませんので、今後についてもしっかりと説明をさせていただきますし、納得していただけるように企業の監督を行っていきます。村としてはできる限り情報の公開をしています。それでも、伝わっていないということであれば、伝えられる方法について考えていきます。

116	13 施設等整備	05 企画財政	上平	共創施設PERCHIに関しては、議員としても本当によく分からなかったです。そうしたことも広報の問題かもしれませんが、建てる前に運営方法や、整備目的等の計画をあらかじめ周知する必要があったと思います。「広報など見てください」と言われますが、それも分かりやすい説明ではなかったように思います。やはり、それらの不満が喬木カントリー跡地の開発にも繋がってくるように思います。これからの課題はそうした周知をしっかりとやってもらうことだと思います。	議員の皆様にも共創施設に関しては今までも説明をしていますので、村としては共創施設に関する予算や条例案は理解した上で可決してくださったと捉えています。喬木カントリー跡地に関する住民の皆様には説明が足りないということであれば考えていきます。喬木カントリー跡地と共創施設の話は分けてお考えいただきたいと思います。
117	14 施設維持・活用	04 建設環境	町	クラソ喬木の西側の道路（村道101・200号線）で、歩道の水路沿いにガードパイプがない箇所が2箇所あります。小さな子供も居住していて転落の危険があるので早急に柵をした方がよろしいかと思います。	水路管理者である井水組合と協議し、塞いでもよいものなのか、必要のために扉型の柵にするのか確認した上で対応していただきたいと考えております。
118	14 施設維持・活用	04 建設環境	町	最近各地で上下水道管による道路陥没等の事故が発生しています。下水道が供用されてから30年位になり上下水道も徐々に耐用年数を迎えます。定期的な検査・点検や更新が必要になると考えますが維持管理の計画をいかにお考えでしょうか。	下水道管渠については、管路にカメラを入れて計画的に調査を実施しております。当村の下水道管径は最大でも35cmであり、さほど深い位置にないため、八潮市交差点道路陥没事故のようなご心配には及びませんが、定期的に調査を行う中で危険箇所の修繕を行っています。また、上水道管については法定耐用年数の40年を経過するものを把握しております。村内の管路延長は100kmに及びますので、漏水修繕以外にも、定期的に管路更新計画を策定する中で重要路線から改修を行っていくことをご理解いただきたいと思います。
119	14 施設維持・活用	04 建設環境	大和知	台風の際に水道施設に倒木がありましたが、役場に連絡して対応を求めるということで良いのでしょうか。	水道施設は村所管の施設のため、役場あてにご連絡をお願いします。
120	14 施設維持・活用	05 企画財政	町	旧北保育園の跡地利用について、以前に検討委員会を立ち上げて話し合いをしたようですが、阿島傘保存事業の移管を含め結論が出ていないと聞いています。解体の方向性も出ていると聞きましたが、避難所としての利用が必要だと思います。どのようにお考えですか。	令和5年度の旧北保育園活用検討委員会における提案では、阿島傘の拠点施設・レンタルスペース・地域の避難所という3つの機能を有した施設が望ましいとされてました。このうち、レンタルスペース機能については、その後、村内に完成した複数の施設で対応できる状況となった経過があります。保育園の統合により、たかぎ保育園の開業後5年以内（令和9年度末まで）に園舎の解体又は払下げを行う必要がありますが、老朽化が進む建物を民間の方が引き受けていただけるか懸念もあります。来年度予算の編成時期までに方向性を示すため、8月上旬から検討会を始めたいと考えています。課題の整理ができつつありますので、関係する皆様にもご参加いただきたいと考えています。

121	14 施設維持・活用	05 企画財政	埴牛原	中原にできた共創施設について、地域ニーズと地域資源のマッチングという部分について具体的にお聞きしたいです。	中原の共創施設PERCHIは、交流・宿泊できる施設として令和7年度に整備しました。(株)Founding Baseに施設の指定管理をお願いし、現在5名の方で運営していただいています。施設では、会議をしたりイベントをしたりもできますし、地域の憩いの場としてご利用いただくこともできます。また、自分で作った商品を販売することもでき、「学びと挑戦の施設」として位置付けています。 地域ニーズと地域資源のマッチングについては、5月下旬から得意・教えられることと、知りたい・学びたいことの登録を行う「ギブ・ウォント登録」をはじめました。それぞれのマッチングにより住民の皆さん同士が交流できるようなイベントを行っていきたいと考えています。また、大学生にもフィールドワークで来村してもらい、地域の課題解決や地元の皆さんと交流する機会がありますが、これからも外部からの視点で、課題解決を共に考えられる仕組みを作っていきたいと思います。 PERCHでは、最初からこれをやりますという形ではなく、走りながらいろいろなものに展開していきたいと思いますので、住民の皆さんの中でも、こういったことをやった方がいいんじゃないかと、こういうイベントやりたいというようなことがありましたらお問い合わせいただければと思います。
122	14 施設維持・活用	05 企画財政	寺の前	共創施設PERCHをワーキングホリデーの宿泊施設として利用することは考えていますか。	ワーキングホリデーの宿泊施設としての利用は、PERCHの本来の目的にあっているものですので活用を進めていきたいと考えています。
123	14 施設維持・活用	05 企画財政	大和知	共創施設PERCHの利用状況を教えてください。	4・5月の交流棟の利用者は500人以上となっています。そのうちイベントでの利用者が100人です。宿泊の利用者は4・5月で37人でした。
124	14 施設維持・活用	05 企画財政	富田	①堰下ガイドウェイヤード ②旧北保育園 ③旧喬木カントリークラブ これらの跡地利用をどうするのですか。	①堰下ガイドウェイヤードはリニア県内工区の全ての工事が完了するまで使用される予定ですので、現時点で活用方法は全く決まっていません。 ②旧北保育園は今年度検討委員会を開催し、今後の活用の方向性を決定する予定です。 ③旧喬木カントリークラブは観光宿泊事業の拠点施設として、民間との連携により開発を進めるよう、今年度から取組を進めています。
125	14 施設維持・活用	05 企画財政	富田	PERCHIについて、とても素晴らしい施設がオープンしたと思います。こんな素晴らしい施設を村内外の方々に有効に利用してもらいたいと思います。今後三遠南信自動車道が開通した際には、さらなる利用が見込まれると思います。先を見越した対応が必要かと存じます。	PERCHでの実施イベント等の周知を行いながら村内外の皆様に利用していただけるよう広報してまいります。
126	14 施設維持・活用	05 企画財政	伊久間	村内2カ所のサテライトオフィスを活用して、「政治・経済・ビジネス・農業等」の塾を開き、若者を対象にこれからの時代を生き抜く術を学ぶ機会を設けてはいかがでしょうか。若者の地元定住、サテライトオフィスの活用、事業所誘致等につながればと思います。	ご意見として承ります。
127	14 施設維持・活用	06 産業振興	大島	区でクライנגルテンの草刈作業を予定していますが、これまで5棟埋まっていてそうした作業も含め、運営上楽だったものの現在2棟になってしまい厳しい状況です。今後のクライングルテンの募集についてはどのように行うのですか。	クライングルテンについては、昨年からのHPにて募集していますがなかなか応募がありません。何件かは見学対応をしましたが、道が狭い等の理由により新たな契約には至っていない状況です。

128	14 施設維持・活用	06 産業振興	大島	豊丘村にクライנגアルデンが10棟できると聞きましたが状況を教えてください。	今後オープン予定ですが、完成が遅れていると聞いています。新しいものができるとそっちに流れてしまうので、募集や施設にお金をかける必要性も出てくると思います。マツタケ、地域の皆さんとの交流等をアピールして募集をかけていきたいと考えてます。
129	14 施設維持・活用	06 産業振興	氏乗	クライנגアルデンについて、三遠南信自動車道開通後の氏乗IC近くとすることで何か考えていることはあるのですか。	開通後は三遠南信地域の皆さんを中心に積極的にPRをし、利用者の確保をしていきます。また、地元地区においても、活用について、積極的に考えていきたいです。
130	14 施設維持・活用	07 教委	寺の前	学校帰りに迎えが来るまで共創施設PERCHを児童生徒の待機場所のようには使うことは可能でしょうか。	施設の整備目的からも多くの児童生徒にご利用いただきたいと考えておりますが、他の利用者に対する配慮も必要となります。学遊館とは異なり支援員を配置している施設ではないため、利用については自己責任となっています。児童の下校時における利用については、安全管理・確保の観点から学校へご相談いただきたいと思います。
131	14 施設維持・活用	07 教委	富田	教員住宅について、近隣の苦情があつて付近の草刈りをしました。ただ、2軒分は刈っており、一部は刈ってありませんでした。管理する役場の課が違うからというのはいかなるものかと思います。行政内で横の連携をとるべきだと思いますがどういった対応になっているのですか。	教員住宅については、現在1棟は教員、残り2棟は企画財政課の関係者が使用していますが、施設の維持管理につきましては教育委員会にて対応します。毎年草刈り等を適宜行っていますが、今年度につきましても早急に対応させていただきます。
132	14 施設維持・活用	07 教委	田上川	アスポは有効活用できているのでしょうか。	みんなの広場アスポでは、たかぎスポーツクラブやボランティアセンターを常設しており、各種スポーツや体操をはじめとした運動利用や、村内の体育施設の予約や鍵の管理、各種団体のボランティア活動などが行われています。また、子どもの学習スペースとして多くの児童生徒が利用しており有効的な活用が出来ていると考えています。
133	14 施設維持・活用	07 教委	田上川	棕記念館のリピーター率はどのくらいでしょうか。	棕鳩十記念館については、入館者の延べ人数の集計のみを行っておりますことから、リピーター率については回答できかねます。ただ、「以前も訪れたことがある」といったお声や、小学校の社会見学など同じ団体に複数年ご来館をいただくことがあります。なお、令和7年度は延べ742人にご来館いただいています。
134	14 施設維持・活用	07 教委	田上川	喬木村図書館の利用率は、他の市町村と比較してどのくらいでしょうか。	図書館利用率につきましては集計をしておりますませんが、村民の登録率に関しては令和6年度ベースで村民の31%が利用者登録をしている状況です。また、近隣市町村にお住まいの方も3割前後の利用者登録があると聞いています。令和7年度の図書館来館者は延べ8994人でした。貸出冊数は42,865冊となっており、多くの方にご利用いただいている状況です。
135	15 村道維持・整備	04 建設環境	北	村道に指定する基準を教えてください。	幅員が4m以上あり、誰もが使用する公益性の高い道路であることが指定基準です。

136	15 村道維持・整備	04 建設環境	梶牛原	唐沢から学校周辺に至るまでの間について、スピードよりカーブを内側に入ってくるのが怖いので、地区の建設要望でセンターラインを引いていただきました。ただ、線はあっても内側に来る車はあり、すれ違えるか冷や冷やすることがあります。旧北保育園の前の道歩道は整備されていますが、狭く交通量も多いので道幅を広げて安全にすれ違えるようにしてほしいと思います。	余地がなかなかない中で、道路を広くするとか高低差を解消するとかは難しいですが、減速できるような工夫はいくつか考えられると思いますので対応を検討したいと思います。 旧北保育園前の道は県道で、県には以前から要望しているものの、なかなか対応が進まない状況なので、引き続き要望活動をしていきたいと思います。
137	15 村道維持・整備	04 建設環境	南	村道218号にひび割れが数箇所確認されています。また、現在の通行量に見合った規模の改修が必要だと思います。陥没した部分を補修工事をしてもらったことがありますが、アスファルトの残骸が残っていることがありました。他にも白線が消えかかっている部分もありますので対応をお願いします。	村道218号線の舗装については、本年度 予算計上しています。また、アスファルトの残骸については、陥没があった際に補修に使用するレミファルトかと思われますので現場を確認します。白線が薄いところは定期的に補修を行います。
138	15 村道維持・整備	04 建設環境	加々須	生活していく上で、救急車・消防車両・宅配車両などが安全に通行できるように道路整備をお願いします。	緊急性の高い道路整備とは、落石や倒木、路肩の崩落による転落事故を未然に防ぐことです。その上で、地域が望む道路が何なのか、具体的な内容を整理する必要があります。しかし加々須の地形を考えますと、どこも同じような道幅が続いているのが現状です。そのため、大規模な新設よりも、待避所を増やす方が効果的だと考えます。
139	15 村道維持・整備	04 建設環境	富田	富田浄化センターの下水のにおいが特に朝方漂ってきます。自宅は施設から直線距離で300m離れています。においなので個人的な感覚の部分もありますが、施設の維持管理はどうなっているのでしょうか。	施設の排気については脱臭装置を通すなどして適正に管理しておりますが、下水処理という施設の性質上、臭気を完全に無くすことは難しく、特に気温や風向きなどによっては周辺に臭いが漂ってしまうことがあります。「特に朝方に臭いが気になる」という具体的なお声をいただきましたので、施設の運転状況について、改めて確認と点検を実施します。引き続き施設の適切な維持管理に努めて参りますので何卒ご理解をお願いします。
140	15 村道維持・整備	04 建設環境	馬場平	里原の信号から中学校に上がる坂道の途中に横断歩道がありますが、生徒が登下校する際に非常に危険なので、木を切って見通しを良くしたり、横断歩道の存在を分かりやすくしていただきたいと思います。	今年度支障木を切る予定ですが、予算等の関係もありどの範囲まで対応できるか確認し、できる範囲で対応したいと思います。
141	15 村道維持・整備	04 建設環境	両平	大和知に設置予定のサル捕獲用の檻について、サルが近くの道路を横切ったりして車の事故が起きたりしないか心配です。設置場所に問題はないのでしょうか。場合によっては付近の道路に「サル横断」等の注意喚起の看板など作ったほうがよいのではないのでしょうか。	設置場所については、猟友会の皆さんと話し合いを行い、氏乗から大和知にかけて行動しているグループを捕獲することを目的に場所の設定を行いましたのでご理解いただきたいと思います。注意喚起の看板については、今後の状況に応じて必要なら設置を検討したいと思います。
142	15 村道維持・整備	04 建設環境	上平	災害が起こった際には、避難場所が上平集落センターになると思います。ただ、物資を運ぶための道が狭くなっています。道路を改善することできないですか。	道路の新設と、既存道路の拡幅改良の2つの方法が考えられます。ただ、これらを行うためには、用地の提供や測量が必要になってきますので、地域の皆様で改善したい場所の地権者の承諾を得ていただき、地区要望として村に話をしていただきたいと思います。
143	16 県道等関係	04 建設環境	寺の前	小川渡橋の架け替え工事が完了するまで4年間もかかるとのことですが、今現在は工事は行っていないみたいですが、もっと短期間で終わらせることはできないのでしょうか。	渇水期の10月から5月までしか工事を行えないという制約があり、4年を要するものと飯田建設事務所からは説明を受けています。

144	16 県道等県関係	04 建設環境	氏乗	県道上飯田線の拡幅等改良について県等へ改良の要望をしてほしいです。	長年要望活動は行っており、重要な路線であると認識していますので引き続き要望活動を行っていきます。
145	16 県道等県関係	04 建設環境	富田	先日行われた三遠南信道工事にに関する説明会でも、弁天商店前の道路改良を要望したところです。九十九谷方面から氏乗方面に向かう際に、住宅のかげに危険を感じていますが対応はいかがでしょうか。	安心安全に通行する方法を検討いただきたいと県に伝えました。村も該当箇所付近は見づらいことを確認しています。既に出来上がっているものを直すことは簡単ではありませんが、村としても継続して要望していきます。
146	16 県道等県関係	04 建設環境	富田	弁天商店前の県道との交差点について、県の予算とか言う前に取り付け村道、村営住宅の目隠し改善等やることはあるのではないかと思います。	ご意見として承ります。
147	16 県道等県関係	04 建設環境	富田	富田バイパスを早期に仕上げていただきたいですが村の姿勢はどのようなのでしょうか。期成同盟会を組織するなど必要ではないでしょうか。地元は仮設道路など全面協力していますので、早期の開通を望んでいます。	三遠南信とセットで考えていく必要があるので、三遠南信の期成同盟会と絡めていきたいと思います。区長や議会からの要望等効果的な要望活動を行います。
148	16 県道等県関係	04 建設環境	馬場平	馬場平地区の公共施設周辺の景観保持や環境保全、水防強化、井水の取水・排水機能維持等のため、小川川のかげ替え工事の実施に合せ小川川の河川改修の要望を強くお願いします。	小川渡橋の架け替え工事にあわせて小川川の改修を行うことは厳しいです。要望活動については引き続き行っていきますので、その際はご協力をお願いします。
149	16 県道等県関係	04 建設環境	馬場平	小川渡橋架け替え工事に関して、伊久間側のようにコンクリートで固めて草が生えてこないようにしていただけるのでしょうか。	県が施工しているため詳細については承知しておらず回答できかねますが、県への要望活動の中で確認したいと思います。
150	16 県道等県関係	04 建設環境	田上川	県道上飯田線が、リニア工事関係の大型車両の通行量増加により舗装のひび割れや沈下が発生しています。その影響により、路肩畦畔の井水U字溝へ流入した土砂が水田にも流入しています。また、路肩畦畔の土圧が上昇することによる井水U字溝ずれで漏水の発生が懸念されます。このような事案に対して、JR側との修繕工事等の要望や協議ができるのか教えてください。	県道畦畔部の形状変化への対応については、JRではなく以前から県へ要望をしています。ただし、形状変化との因果関係が証明できないと対応してもらえない状況です。水路に関しては井水組合の所管となりますので、村に修繕の地区要望を上げていただき対応することになると考えられますが、地元負担が生じますので、地区内でご検討いただきたいと思います。
151	16 県道等県関係	04 建設環境	田上川	県道上飯田線の畦畔草刈りをボランティアで行っていましたが、耕作者の高齢化により作業の負担になっています。外部委託をお願いすることができるかどうか伺います。	県道の畦畔なので、本来県が管理すべきところ、田上川地区では長年花を植える活動に併せ沿線を管理していただいている経過も承知しています。田上川地区は、県との間で県道の草刈り等の維持管理を担うアダプトシステム協定を締結していましたが、高齢化等により維持が難しくなっている現状を踏まえ、県と協議の上協定を解消することも選択肢の一つとして検討してはいいかがかと考えます。（令和7年7月協定解除済み）
152	16 県道等県関係	04 建設環境	伊久間	弁天橋南側の道路改良事業について、令和7年7月までの予定で地質調査が行われましたが、その後の状況がわかりましたら教えてください。	地質調査の結果情報は、村へはいただいております。測量等も行われていると思いますが、今後の日程については村では把握していません。

153	17 高齢者・福祉	03 保健福祉	北	心配事相談について、弁護士のほかに民生委員と思われる方が同席していました。弁護士のみの対応だと思い相談を申し込みました。開催の広報段階で民生委員が同席することについて周知した方がよいと思います。	心配事相談は、社会福祉協議会が民生児童委員に依頼して毎月開催しています。あわせて行政相談員が行政相談を開催しています。年3回（7月・10月・2月）、弁護士による法律相談を実施しています。相談時に、民生児童委員等が自己紹介するようにします。
154	17 高齢者・福祉	03 保健福祉	馬場平	子育てには手厚い支援策ばかりですが、老年になってきた者にも、何かメリットになる支援はありますか。	高齢になるほど医療費がかかりますが、75歳以上の方には後期高齢者医療制度で、国や県、村からの支援を受けることができます。また、介護がもし必要になった場合も、村からの支援を受けることができます。その他にも、健康教室や高齢者に対する事業を実施しておりますので、ぜひ生きがいを持って元気に暮らしていただきたいと思います。
155	17 高齢者・福祉	03 保健福祉	両平	令和8年度の主な事業に高齢者に関するものはありませんでした。高齢者世帯は将来に対する不安を抱えている方が多いと思いますが、相談サポートを充実させる内容があつてしかるべきだと思います。	今回村政懇談会でご紹介した主な事業以外にも高齢者福祉に対しては様々な事業展開を行っております。ご意見として承ります。
156	18 子育て支援	03 保健福祉	北	産前産後家事育児支援事業について、助成額が1万円では少ないでしょうか。	近隣町村の取り組みを参考に助成額を決めました。今後の利用状況を見て助成額を見直すか検討してまいります。
157	18 子育て支援	07 教委	北	塾や部活の送迎を地域住民の登録制にしてやってみてはどうでしょうか。	送迎時間、場所、人数等を含め、地域住民の方々のみで実施することは多くの課題が想定されます。ただ、地域の皆さんの協力という面においては大変ありがたいご意見であると考えますので今後の取り組みの参考とさせていただきます。
158	19 健康推進	03 保健福祉	田上川	人間ドックの補助金が7割補助だったものが、15,000円の補助になってしまいました。毎年受診することができず早期発見ができないため補助金の増額をお願いします。	人間ドックの助成内容は、加入されている医療保険（保険者）によってそれぞれ異なります。以前ご加入されていた健康保険組合等では7割補助が実施されていたと思いますが、国民健康保険及び後期高齢者医療保険は定額補助となっています。補助金額のご提案につきましては、今後の検討事項として承ります。
159	20 生活・環境	04 建設環境	町	令和4年度に自治会・区会を経て村に整備をお願いしている竹林（淵静寺～阿島交差点付近の裏山）について、4年の間に何の進展もない状況にあります。竹林の徒長により、冬は日が差すのが10～11時以降となり、暖房費も大変高騰している状況にあります。急傾斜地のため作業が難しい中で、伐採の補助金制度や整備の方向性について教えてください。	竹林整備の補助金としては、個人で整備を行う場合には1年目：5万円/10a、2～5年目：3万円/10aを設けています。伐採した竹は搬出を原則としていますが、搬出に関する扱いの緩和を検討しています。業者に委託する場合は、上限5万円で1/2の補助があります。また、団体で整備する場合には1年目：300円/㎡（上限30万円）、2～3年目：200円/㎡（上限20万円）、4～5年目：100円/㎡（上限10万円）を設けていますので、仲間の皆さままで組織して申請いただくことをお勧めします。業者につきましては、(有)長野索道、飯伊森林組合へご相談いただければと思います。なお、竹林整備に限らず各種補助制度を用意していますので、補助金概要資料をご確認いただき、お問い合わせいただければと思います。

160	20 生活・環境	04 建設環境	帰牛原	新聞等で自治会に入っていない人たちのゴミの収集とかの問題が取り上げられることがあります。自治会や村の把握しているゴミの収集等でトラブルとかのないのでしょうか。	ゴミの収集自体は行政の仕事ですので業者委託により収集業務を行っています。ゴミに関するトラブルについては、ゴミステーションは地域で管理しているので、組合に入っていない方は捨てないでくださいと地区の当番の方から言われたという問い合わせが去年と今年で2件ありました。そう言われた方に対しては、ゴミは地区の決められた場所に出しても差支え無いとお伝えをします。組合・自治会に入っていない場合でも自治会費を納めている場合には、ゴミステーションを管理する方々の管理費用として自治会費を払っているので、問題ないものと認識しています。ただ自治会費も納めていない方であれば、収集車が回収に来たときに直接搬出していただく方法しかないと思います。
161	20 生活・環境	04 建設環境	寺の前	阿島区で取り組んでいた里山整備事業は現在も継続しているのですか。寺の前地区として参加可能でしょうか。	阿島区里山整備協議会として、阿島区が事業主体となっていますが、現在事業は止まっている状態です。今後事業を継続できるか県の担当へ確認をします。また、阿島区里山整備協議会としての寺の前地区であるので、阿島区協議会へご相談いただきたいと思います。
162	20 生活・環境	04 建設環境	加々須	村道沿いにある松くい虫の被害木について、早期の伐採を要望します。当該箇所の下では農作業が行われており、もし倒木が発生した場合は、作業者の人命に関わる可能性があります。	感染拡大防止のため生木・半枯れ木を優先して伐採しており、完全に枯死した木は原則伐採の対象外です。該当箇所の木については、現地を確認したところ、木の状態や立地場所、予算の範囲外であるため地権者に対応していただくこととしています。
163	20 生活・環境	04 建設環境	大島	道路敷の倒木が多く枯れた木は個人で処理する認識ですが、地権者が誰なのかわからないため、現場を案内するので村でも処理をお願いしたいです。今年になって何度も倒れていて区で対応しています。県にも同行をお願いしたいです。	現在地権者の確認を行っております。村の管理区分であれば伐採工事を実施します。
164	20 生活・環境	04 建設環境	氏乗	住宅周辺の私有地において立木が大きくなり災害及び老木で倒れる恐れがあります。電線を切ってしまうと停電により周辺へ迷惑をかけてしまうため、伐採等の対応が必要ですが村の補助金はありますか。あるいは、村で撤去していただけますか。	私有林を整備する目的で間伐や下刈などをする場合は、施業費の3割を村で補助する制度があります。ただ、単木で大木となり支障となる場合は個人で対応いただくのが原則であり、補助金の対象にはなりません。これらについては村としては対応できかねるので所有者にて除去対応をお願いします。
165	20 生活・環境	04 建設環境	氏乗	木が災害等で倒れた場合、撤去は個人負担となるのでしょうか。緊急時は村ですべて対応いただきたいと思いますがいかがでしょうか。現在、電線にかかる枝については中部電力が無料で撤去対応しています。	災害等で倒木があり村道で通行に支障が出る場合は、村道の安全な通行確保を目的に村で除去します。これはライフラインを確保するために実施するものであり、このような事例に該当しない場合は、原則所有者の責任で撤去いただくものになります。
166	20 生活・環境	04 建設環境	氏乗	倒木等について、所有者が処分となると高齢化が進み個人負担となればお金がなく支払いができない状況となってしまいますがどうしたらよいでしょうか。また、地区を離れたり、亡くなったりした場合による空き家の庭木や、県道脇の大木の管理と負担はどうすればよいのでしょうか。	枯損木等でライフラインに支障がでる恐れのある場合は村にて除却を行います。また、主要道で電線が通っているなどライフラインとして確保しなければならない等の路線については、地区の要望をお聞きする中で緊急性を判断し優先順位をつけ伐採等を実施します。空き家等に対する管理については、原則として所有者が主体となります。村としては所有者等へ対応を求める等連絡をする対応をとらせていただきます。
167	20 生活・環境	04 建設環境	大和知	竹林対策について、村の考えを伺いたいです。	竹林対策については、地域で実施する竹林整備に対する補助金のメニューを用意しています。

168	20 生活・環境	04 建設環境	富田	6月上旬の台風の影響で九十九谷でアカシアの倒木がありました。過去にも同じ場所で倒木があったので、村でもパトロールをしておくべきだと思います。	今回の倒木対応については、閉庁日ということでもあり、宿日直で受け付けた後に担当係の職員2名での対応となりました。木が大きいと専門業者に対応してもらう必要があるため時間を要しました。幹線道路については、被災状況をパトロールして処理していますが、主要幹線道路についてはライフライン確保のために緊急性により対応していくこととしております。
169	20 生活・環境	04 建設環境	富田	4月の村でのごみ拾い（全村一斉環境美化運動）ですが、4月は地区のお祭り、道づくり等行事が多いので飯田市と同じように5月末の日曜日にできないでしょうか。	ご意見として承ります。なお、一斉美化運動の日程につきましては各地区の都合に合わせて変更いただいても差支えありません。
170	20 生活・環境	04 建設環境	両平	外来動植物の対策についてどのように考えていますか。また、どんな対応をしていますか。	オオキンケイギクなどの外来植物に関しましては、近隣の町村でも対応に苦慮しています。植物を知ることなどで対応など考えられることもあるため、情報誌に載せたりして周知するようにします。外来動物に関しましては、例えば矢筈ダムのウチダザリガニ等がありますが必要に応じた対策を講じていきたいと思っております。
171	20 生活・環境	04 建設環境	田上川	中東情勢の影響により、ごみ袋の供給が不安定になっている自治体があると報道されていますが、喬木村の今後の見通しなど状況を教えてください。また、ごみ袋の値上げは予定されているのでしょうか。	喬木村の燃えるごみの袋は北部総合事務組合で共同で発注しており、供給に支障はないと伺っています。他の袋についても供給ができなくなるという情報はありますが、プラスチックのごみ袋については原材料の変更により色が変わりました。こちらは、事業者から変更になった際に知らされましたので周知が遅くなってしまい申し訳ありませんでした。ごみ袋の仕入れ値は上がっておりますが、現時点では値上げを行う予定はなく上昇分は村が負担する予定となっております。
172	20 生活・環境	04 建設環境	上平	中東情勢による原料輸入が不安定になり、ゴミ袋が不足している地域があると伺っていますが、喬木村の場合は大丈夫なのでしょうか。	材料が足りないということは業者から聞いておりません。ただ、不足を懸念して他の自治体が通常より多く発注しているなどの動きがあるため、生産が間に合っていない状況にあると伺っています。村内でも店舗によって在庫の有無がありますので確認してみてください。
173	20 生活・環境	04 建設環境	伊久間	伊久間原の村道支障木等の伐採について、区でもできる範囲での除去はしていますが、どうしても手の届かない場所があります。今後も村でのご支援、ご協力をお願いします。	限られた予算の中で、まずは住民の皆様の安全確保、通行の確保を優先したいと思っております。
174	20 生活・環境	04 建設環境	寺の前	地区内で倒木や崩落が何か所か発生していますが、人的被害がないよう村として対応いただけないのでしょうか。	倒木に関しては、木の所有者の方の管理責任が原則となります。村でも森林税を使ったライフライン整備も行っていますが、箇所数が多いため優先順位をつけて行っているところです。倒竹については、竹林整備のための補助金がありますのでそちらをご活用ください。
175	20 生活環境	06 産業振興	大和知	草刈り補助金など、個人から個人に渡せて換金できるものがあれば、高齢者の草刈りの手助けになるのではないのでしょうか。ボランティアばかりに頼らず、事業化・仕事化することにより、地域の生活を守るシステムを作ってみてはいかがでしょうか。	草刈りは高齢者に限らず大きな作業負担になっています。草刈りに限らず「生活を守る」ための作業の全般について、ボランティアでない場合は、応分の費用負担が必要になります。作業内容によっては「シルバー人材センター」や、村で組織する生活支援事業「おたすけ隊たかぎレンジャー」、Perchを運営する(株)FoundinBaseの「GIVE/WANT」登録などのシステム活用のご検討をお願いします。

176	20 生活環境	06 産業振興	梶牛原	中学校体育館東側に柿畑があり、秋口から冬場にかけて枯れ葉が多く、風が吹くと大量の柿の葉が中原の宅地の方へ飛んで来ます。柿畑の道を挟んで向かいの大勢の方が被害に悩まされています。耕作者に落ち葉を埋めたり、飛ばないように囲いを作ったりそういった対応をお願いできないですか。	自分の畑については片付けるとか家の前の道はお互いで片付けていただいていると思いますが、現状では農家の方への指導はしていません。法律的な対応となると当事者間でのやりとりをお願いせざるを得ず、住んでいる方から農家へお声がけいただくということになるかと思います。農協からは埋めたほうが次の年のためにもよいという話はしていただいているのですが、なかなか完全に葉っぱを飛ばないようにするのは難しいところです。いただいたご意見を農業委員会等で取り上げ、農家側にできることはないか相談したいと思います。
177	21 空き家等対策	04 建設環境	町	旧蕎麦漬物の建物をなんとかしてほしいです。2年ほど前に、建物を撤去するには手続きが複雑で、お金もかかるとの説明がありました。ブロック塀や建物自体も老朽化しており危険です。少しずつでも良いので、行政でまずは建物を撤去して更地にしていただきたいです。自治会の定例総会でも毎回話題に上がっています。	旧蕎麦漬物の問題は、大変難しい状況に変わりありません。令和6年8月に実施した意見交換会で、「地区として今後のあり方の意見をまとめ要望していきたい」とされたところですが、令和7年度までの間には村の方には地区としての要望は承っていないと確認しております。行政としましては、整備等の事業目的のために財産を買収するのが本来ですので、現時点で取壊しのみを行うことは想定していません。また、根抵当権の抹消をどう処理するのが大きな課題です。これらに着手するためには、破産管財人を選任することから始まりますが、それにも予算が必要です。次に、建物の解体費用がいくらかかるかも問題です。漬物工場だった建物ゆえ、土壌の調査・入替費用の場合によっては必要となります。これらの費用に係る予算や、財産の取得については議会の議決を得なければなりませんし、費用負担など、地権者の皆様が個人・法人ともに同じ考えで協力していただかないと事業を進められない難しさもあります。なお、建物の倒壊の危険がある場合には、緊急対応として道路を封鎖することも一つの方法とも考えられます。村内には旧蕎麦漬物以外にも取り残されている大規模な建物がありますので、この旧蕎麦漬物施設への対応が前例になってはいけないとも思っています。ただ、村としても何もせず放っておく考えではありませんので、今後も引き続き対応について考えてまいりたいと思います。
178	21 空き家等対策	04 建設環境	両平	役場横にある空き家があまりにも荒れていますが、村として対策を検討できないのでしょうか。	馬場地区の該当の空き家については、現状では「管理不全空き家」に位置付けられる程度であり、村として手だてを講じる必要を検討する対象となる「老朽危険空き家」ではない状態です。実質の所有者もいない状態であり、現在のところは村として手を付けられない状態です。村としても取得・解体する検討の段階ではありません。
179	21 空き家等対策	04 建設環境	田上川	小川の湯について、廃業してから長い年月が過ぎており老朽化が進んでいます。屋根の一部が強風で飛んで無くなったり、建物の一部が落下しています。前面の村道は通学路で、近くには県道も通っており危険です。また、入口のドアが閉まっていないため建物への出入りが容易となっており放火なども心配されます。村で対策はできないのでしょうか。	該当の建物については、所有者が存在しています。その方が責任をもって行うべきことであるため、現時点では村が代執行するということは考えていません。まずは、所有者に対しては状況を認識してもらい協議のきっかけとなるよう、建物の管理について7月中旬に回答を求める文書を発出しています。危険を感じる場合は道路を迂回するなど自己防衛をしていただきたいと考えています。

180	21 空き家等対策	04 建設環境	田上川	旧小川の湯の建物について、村が没収したのち現在の所有者へ売ったと聞いています。建物が崩れそうであり管理ができていないことについて村の責任はないのでしょうか。危険回避のため通行は避けてとのことですが、幹線道路であるため避けようがありません。	当建物について、村で没収するようなことも含めて所有権移転には村は一切関わっていません。旧所有者から現所有者へ所有権が移転したものです。管理不全については再三現所有者への改善を促しています。所有権が明確な建物について、村が行えることは限定的となってしまいます。台風等で危険と判断した場合は、迂回していただくか封鎖するなど通行制限の検討が必要と考えます。
181	21 空き家等対策	04 建設環境	田上川	小川の湯、大橋屋旅館、蕎麦漬物の対応は、村として行うことはできないのでしょうか。	小川の湯、大橋屋旅館は所有者が明確な物件のため、改善等必要な場合は状況に応じて所有者へ対策を講じるように促すことだけしか村はできません。蕎麦漬物については、地域や地権者の方から安全対策等に関する相談がありますので、関係者の意向をお聞きしながら対策を検討します。
182	21 空き家等対策	05 企画財政	両平	空き家バンクの土地建物の売買について価格が安すぎて売り手として納得がいきません。広報の出し方を考えて、もう少し良い条件で売買してくれるよう可能性を広げてほしいと思います。	価格については売却する所有者側が決めるため村としての関与は難しいです。
183	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	加々須	大島地区と加々須地区合せて銃の猟をやっているのは一人です。もう一人方は罟猟をやっています。もう少し増えれば、お役に立てると思います。作物の被害が少なくなるように頑張りたいと考えています。	鳥獣被害について、猟友会では高齢化が課題です。捕獲報酬も上げているところですが、フェンスで囲ったことが影響しているのか頭数が減少しています。特に熊は、4件の目撃情報がありますが捕獲に至っていません。現在、マニュアル整備を行い、併せてゾーニング計画を検討しています。
184	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	大島	サル捕獲用の大型檻はどこに設置しますか？	大和知に設置予定です。
185	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	大島	サル捕獲補助金がありますか？	一頭2万円の補助があります。
186	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	大島	猟友会であれば許可がなくてもサルは撃てますか？	猟友会員は捕獲許可証が発行されています。安全確保の上対応をお願いします。
187	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	氏乗	クマによる人身被害を防ぐために鈴やクマよけスプレーなどの補助をしてほしいです。ちなみに県発注工事はクマよけの対策アイテムも工事費に含めてくれているようです。	クマ避けに対する補助制度自体は今のところ検討していませんが、クマと遭遇しないよう緩衝帯のゾーニング計画や緊急銃猟マニュアル等の整備を計画しています。危険地域にて活動する猟友会会員には県の補助金を活用してクマ除けスプレーの購入を計画しております。村発注工事での経費計上については検討させていただきます。
188	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	大和知	大和知に猿の捕獲檻を設置するとのことですが、いつ設置してどのように活用するのですか。	猿は、くくり罟や銃での対処が難しい中で、捕獲檻が一番効果があるものと考えています。設置に当たっては県の補助金を活用する予定で、現在県の交付決定を待っている状況です。
189	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	大和知	有害鳥獣駆除に係る補助金について、村政懇談会の資料にないためき等の小動物は補助対象にならないのでしょうか。また、所有農地に入ってくる有害鳥獣は自ら罟で捕獲しても良いのでしょうか。	村政懇談会の映像資料にない有害鳥獣については、補助金一覧に掲載していますのでご確認ください。有害鳥獣駆除は狩猟免許をもつ猟友会員に限られます。被害でお困りの場合は地域の猟友会員へご相談ください。また、狩猟免許取得にかかる費用の一部を補助する制度もございますので免許取得もご検討ください。

190	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	富田	村道779号線の現状について、有害鳥獣にも関係するので写真を撮ってきました。草生え木が侵食したりイノシシが出てきたりと、とても村道とは思えない状態です。一部は業者さんが倒木を撤去してくれたり整備してくれましたが、倒れている木は切ってもらわないと通れないし、せめて砂利を敷くなど有害鳥獣が出てこないようにするなど最低限の対応や対策をとっていただきたいと思います。以前に相談しましたが、予算がないとのことで何の対応もしてくれませんでした。村民はお客だと思って対応いただきたいと思います。	該当箇所付近は保安林になっているため、手を付けるには制限がかかり対応が難しいところです。有害鳥獣の出没対策に関しては、檻やくくりワナを設置したり、猟友会に動いていただいているところです。村道を舗装してもイノシシ等は出てきてしまい、道路だけでは防げないので防護柵設置を検討されてはいかがとも思います。村道を舗装しても出てきてしまう心配がありますが、該当箇所全てを舗装しようとする400m～500mあり、昨今の資材高騰もあり莫大な予算がかかってしまいますので、地区の中で優先順位をつけた上で何年かかけた計画で考えていただく必要があります。
191	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	田上川	幕の内地籍で、数年前からサルが目撃されるようになっていますが数が徐々に増えています。サル用の捕獲檻はどの辺りに設置するのでしょうか、大原地区や伊久間原へ侵入しないように幕の内地籍に設置することは考えていませんか。また、檻を設置する今回の対策について、被害調査を行っているなどの対応実績があれば教えてください。	サル捕獲檻は大和知地区に設置をする予定で進めています。村内全体にサルは数百匹生息しており、いくつものグループに分かれて移動しています。設置場所については猟友会と調整しながら検討してきました。被害調査については、農家の皆さんから産業振興課に寄せられた情報を基に、県にも確認いただいている状況です。
192	22 遊休地対策・有害鳥獣	04 建設環境	上平	サルを捕獲した後の処理はどうする予定ですか。	猟友会に依頼し、駆除を行います。
193	22 遊休地対策・有害鳥獣	06 産業振興	大島	有害鳥獣対策について、村政懇談会での補助拡充に対する説明では3戸以上が対象とありましたが、3戸も集まらない個人しかない場合はどうなりますか。	一定程度の面積での鳥獣害対策が有効であるとの判断から、畑が隣接するような場合を想定して制度を拡充したものになります。個人については、これまで同様の補助率（1/2以内）となります。
194	23 農業振興・産業支援	05 企画財政	北	阿島傘について、どのような支援をしていく考えがあるか教えてください。	帰牛原に新しく阿島傘の制作を始めてくれた人がいます。村としては、産業面からも伝統継承の面からも二つの面で支援していきたいと考えています。
195	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	寺の前	ソルガムについて、燃料利用という記載がありましたが、どういった利用でしょうか。また村としてプラントの整備の予定はありますか。	ソルガムを利用したバイオマス発電としてのエネルギー利用や水素を製造する際に一部利用することが可能です。あくまでソルガムの利用方法の一例であり、現在のところ村としてプラントを整備をするといった予定はありません。
196	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	加々須	ソルガムの実の収穫方法を教えてください。	企業で栽培を行っているところでは機械による収穫を実施していますが、当面村では手作業による収穫となります。活動が広がれば機械化も考えられます。
197	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	加々須	ソルガムの販売価格を教えてください。	栽培にあたっては、ソルガム会に加入して種を共同購入の上、マニュアルに沿って栽培していただきます。販売価格は会では規定せず、精米手数料を考慮した上で、個人で自由に価格を決定できます。
198	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	加々須	ソルガムの栄養価を教えてください。	抗酸化作用があると言われているポリフェノールや食物繊維、GABA等が豊富であるためスーパーフードと言われています。
199	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	大和知	農業用機械の購入補助について、近隣の他町村と比べると補助率が低いので拡充してほしいです。	他の地区からも拡充してほしいという意見をいただいています。村の財政負担や農業以外の業種の方に対する支援との公平性等を踏まえながら補助の拡充について検討します。

200	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	富田	節水型乾田直播実証実験事業について、とても興味深い内容だと思います。	ありがとうございます。引き続き、関心をもっていただき、気がついた点等があれば、役場産業振興課までお伝えいただきたいです。
201	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	上平	乾田直播を利用できる目途は立っていますか。	今年度から実証実験を行っておりますので、その成果については、秋までわかりません。希望があれば現状の見学等はいつでも可能ですのでご相談ください。
202	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	上平	乾田直播で作った米はどのように収穫するのですか。機械の購入になると慎重になってしまいます。購入補助等を含めて田んぼの維持を考える必要があると思います。	米の収穫は、他の稲作と同様にJAまたは村内の農家に依頼することになると思います。農業機械の購入に関しては補助が出ます。詳しい補助の内容に関しては、改めて確認していただければと思います。
203	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	伊久間	ソルガムの栽培について、かつて伊久間原で取り組みましたが上手くいきませんでした。栽培したい場合、乾燥等をどのようにしたらよいか教えていただきたいです。	昨年度城原で栽培実験を始め、喬木村内でも比較的乾いた土地であれば育つことがわかりました。今後普及していくにあたり、栽培箇所の選定と、収穫作業の機械化が課題となるかと思っています。今年度に関しては、それぞれの園のものは各園で手積みで収穫、干していただき、それを長野市のソルガム協会で脱穀し製品にします。長野市までは村で運搬しますが、利用料等が発生します。その点をご理解いただけた農家の方に種をお分けし、一緒に取り組むこととしています。
204	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	伊久間	ソルガムを推進していくためには、ある程度の機械化が必要だと思います。その点について対応策の検討を是非要望したいと思います。	機械化を進めているところもありますが、お金もかかる話であるため、今後村内でどのくらい展開していくかによって検討していかなければならないと考えています。まずは今年は「育つかどうか」という点を研究するとともに、品種が昔と変わってきているため、その点を各農家の皆さんに評価していただければと思っています。
205	23 農業振興・産業支援	06 産業振興	伊久間	定年後に農業を始めた人は、認定農業者になれますか。認定農業者の周知もしっかり行ってほしいです。	農地利用の拡大、効率的な農業の実施等の計画を出していただき、審査会で認められれば認定農業者になれます。年齢の制限はありません。ただ、一定の目標を設定いただく必要があるため、まずは村の担当に相談いただく中で、認定農業者に該当するかどうかを確認させていただきたいと思います。周知については、今後広く行っていきたいと思っています。
206	24 観光・地域活性化	06 産業振興	町	村の観光資源の継続・復活について、個人・団体に頼っている現状で、これから村としてどのような支援体制を考えているのですか。	村は直営の観光施設を持っておらず、NPO法人たかぎが中心となって、村と村内の団体と共に観光事業を行っています。情報発信が足りないというお声もいただきますので、強化できるよう取り組んでまいります。阿島傘の見学にお越しになる方の案内については、阿島傘の会の皆様に対応をお願いしていますが、最近は見学者数が多くなっていると聞いています。様々な課題がありますので、今後の支援策や予算化について、検討したいと考えています。
207	24 観光・地域活性化	06 産業振興	町	阿島傘伝承館については、県外から視察や見学に来られる方も増え、駐車場がいっぱいになることもしばしばです。駐車場は土場ですので、雨天時には、足元がぬかるみ見学に来て頂いた方に不便を強いているので駐車場をアスファルト舗装にしていきたいと思います。	伝承館の駐車場を観光のために舗装することについては、今後の旧北保育園の活用動向によって検討していく必要があると思います。地区として急いで舗装したい場合には、集会施設に対する補助事業の活用を検討いただき、要望していただければ予算措置の検討ができるかと思っています。

208	24 観光・地域活性化	06 産業振興	町	阿島傘を観光で大々的に売っていくのであれば、駐車場を整備しないとお客さんが入ってくれません。例えば歴史民俗資料館や交流センターの近くなど、貸切バスが入れるような施設であれば便利だと思います。	観光については、駐車場は必須になりますので、今後の検討課題とさせていただきます。
209	24 観光・地域活性化	06 産業振興	大和知	観光農園施設の有料化の検討はいかがでしょうか。くりん草園・ポピー園はお金を取った方が良くと思います。	ポピー園は入園料をいただいております、くりん草園については任意ですが寄付金をお願いしています。いずれの園も、任意団体が運営をしていることから、ご意見いただいたこととお伝えしたいと思います。
210	24 観光・地域活性化	06 産業振興	富田	喬木は自然豊かで、都会の人から見ると、くりん草、いちごなど魅力を感じて来村してくれる資源があります。くりん草もその一つで、是非くりん草祭りは復活させていただきたいと思います。富田でも城山公園の作業などを地域の皆さんで実施しておりますが、くりん草の管理でも人手が足りない時は希望者を募ってくれば自分もぜひ参加したいと思います。	とてもありがたい意見で感謝申し上げます。ぜひ、祭りは復活させていただきたいと思っており、愛好会の皆さんの取組に対する支援を検討しています。その一環で一般の方へのボランティア参加の呼びかけをしています。くりんネットや公式Lineを通じて情報提供し、30人ほどに参加していただいています。今後も、多くの村民の皆さんに参加していただき、祭りも復活することに期待をしたいと思います。
211	24 観光・地域活性化	06 産業振興	富田	阿島ふるさと祭り（花火大会）復活は考えていませんか。8月15日お盆に帰省される方々が楽しみにしていたと聞いたことがあります。ぜひ、復活をよろしく願います。	たかぎふるさと祭りはコロナ禍や花火打ち上げ場所の消滅を受け、令和4年度から会場を運動公園周辺に移すとともに村総合文化祭と統合し、現在は”美し郷” 喬木まつりとして9月下旬に開催をしています。この経過において開催時期も検討しながら、現在の形としたことから、8月15日開催のふるさと祭りの復活については、考えていません。
212	24 観光・地域活性化	06 産業振興	富田	九輪草園について、本年度のくりん草祭りは開催がありませんでした。村花であり、看板も設置された公園でのイベントです。公園内も草が生え管理不十分な状態でした。様々な理由はあると思いますが、やるべき事の優先順位を整理し対応能力の改善が必須と考えますがいかがでしょうか。 村花なのにイベントをやらないなどというのはいかかなものかと思えます。来年のために、村花ということの問題にして考えるべきではないでしょうか。	クリンソウ園の管理やお祭りの開催は、愛好会の皆さんが取り組んでこられました、くりん草祭りは村の主要な観光資源にもなっていることもあって、開催できなかったことについては村としても残念に思っています。愛好会のみなさんにお聞きしたところ、雑草が生い茂り株が育たず減ってしまったということが要因とのことでした。復活していただきたいとは思っていますが、愛好会員の皆さんの高齢化など今までどおりの活動ができなくなることも考えられますので、愛好会の皆さんと意見交換をして、村としてどんな支援ができるのかを考えて行きたいと思っています。 村花の意義は承知していますが、地域の皆さんも一緒に考えていただきたいと思います。
213	24 観光・地域活性化	06 産業振興	田上川	松川町のごボタン井のような喬木村の名物を出す気はありますか。	過去に、地域に伝わる食に関するコンテストを開催し、「わしゃほのおやつレシピ集」を作成しています。村内事業者へ提供した経緯がありますが、定着に至りませんでした。名物・特産品の開発等については、村内外に売りだせるコンテンツがあることは良いと考えています。行政主導での開発は、現在は考えていませんが、名物・特産品について、具体的なことがあればご相談いただきたいと思います。
214	25 社会教育・スポーツ振興	07 教委	町	公民館の分館対抗で昨今流行している健康麻雀大会を開催すればいかがか提案します。	分館対抗という形はハードルが高いと思いますが、スポーツクラブや講座などで開催することも一案であると考えますので、公民館で検討させていただきたいと思います。

215	25 社会教育・スポーツ振興	07 教委	馬場平	自治会単位で公民館の分館がありますが、本館活動や分館に人材を出せないとの声を聞きます。分館単位での見直しを考えておりますでしょうか。また、公民館活動の現状と将来的な見通しがあればお聞かせください。	分館役員の一部見直しを行っており、役員の配置については、各地区でご検討をお願いします。公民館としても「これを行ってください」という考えではなく、地域の皆さんの自主的な活動を一緒になって進めていきたいと考えています。
216	25 社会教育・スポーツ振興	07 教委	馬場平	公民館に入っているだけでも何も利益が無いので、馬場だけでも分館活動をやるのはできないでしょうか。	人とのつながりや交流を利益と感じている方も多くいらっしゃいますので、改めて考えていただければと思います。
217	25 社会教育・スポーツ振興	07 教委	田上川	老人向けに、初級クラスからわかるようなパソコン教室を開いて欲しいと思いますがいかがでしょうか。小中高生が講師になっていただくことでも良いかと思います。	現在、公民館の本館直営事業ではパソコン教室は行っていません。ただ、公民館自主企画講座を活用してパソコン講座を行っている分館もありますのでご検討いただきたいと思います。貴重なご意見として承ります。
218	27 学校教育	07 教委	町	年々子どもが減少している中で、第二小学校では全校児童が30人程度と聞いていますが、第一小学校との統合については現在検討されているのでしょうか。	昨年度、村内の子育て世代の皆さまを対象にアンケートを実施し、現在、その結果を取りまとめ分析している状況です。今後、「喬木村の義務教育を考える会」を立ち上げ、今秋にかけて、アンケート結果をお示ししながら住民の皆様を対象に説明会を開催し、ご意見をお聞きしながら方向性を示していきたいと考えています。 村内の子どもの間に経験できることに差があってはいけないと思いますので、そういった課題は解消したいと思ひますし、3校共に築40年を経過し老朽化も進んでおり、学校全体のあり方を含め、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備できるよう努めてまいりたいと思ひます。
219	27 学校教育	07 教委	寺の前	学校給食の材料について、お米等の村内食材の使用率はどの程度になりますか。	食材が給食に提供できるだけの数量が揃えば、できるだけ使用するようになっています。シーズン限定になりますが、人参、トマト、ズッキーニ等については村内産を100%使用しています。お米につきましては年度により差異はありますが、近年は60～70%程度が村内産となっています。
220	27 学校教育	07 教委	寺の前	現在中学校で使用されているAI型教材Qubena（キュビナ）を小学校へも展開することはできないでしょうか。	現在小学校では別のデジタルドリル（インタラクティブスタディ）を採用しております。現時点ではQubenaを導入する計画はありませんが、小・中共に同じ教材を使うことはメリットもあると認識しておりますので、今後の計画の参考とさせていただきます。
221	27 学校教育	07 教委	寺の前	学校におけるICT教育の利用度について先生ごとで差があると感じていますが、先生に対するバックアップ体制はあるのでしょうか。	ご指摘の通り、ハードの整備だけでなくソフト面でのバックアップ体制が重要であると認識しております。教育委員会にICT支援員を配置し、定期的に学校に訪問支援しているほか、村としてのICTの研修計画を策定し、外部講師の招へいに係る費用や先生方が外部研修に参加する際の予算措置等を行っています。
222	27 学校教育	07 教委	大島	大学生のボランティアと去年交流会を行いました、そういう方もありますが、小中学生とも交流できると良いと考えます。	令和4年に地域探検で子どもたちが大島を訪れましたが、それ以降はできていない状況です。学校でも総合的な学習の時間で地域を知っていることを行っているため、大島からの要望を学校側へ伝えます。
223	27 学校教育	07 教委	大和知	小中学校の現状整理と方向性について詳しく聞きたいです。	小中学校の方向性については、保護者に対して3月に今後の方向性を確認するアンケートを実施しました。現在、いただいた意見を整理しており、今後説明会を開催して意見交換を行う予定としています。

224	27 学校教育	07 教委	富田	保小中の見直しの議論はどの程度進んでいるのでしょうか。	今年3月に子育て世代を対象に「小中学校の統合」を含めたアンケート調査を実施しました。現在、アンケートのまとめと分析を行っている段階です。今後、当村の義務教育を考える会を立ち上げ、住民の方々への説明、意見交換会等を開催する計画で進めています。保育園につきましても学校のあり方と合わせ議論を進める必要があると考えています。
225	27 学校教育	07 教委	馬場平	小学校の統合を早く行っていただきたいと思います。	子育て世代を対象としたアンケート調査を基に現在分析を行っております。今後の予定ですが、秋には住民説明会を開催し、住民の皆様のご意見をお聞きしながら今後の方向性について検討していきたいと考えております。
226	28 財政・補助制度	01 総務	寺の前	城原に設置されている貯水槽が損傷しており、貯水が完全な状態でないのですが、修繕や設置に補助金はありますか。	村に補助制度があります。見積を取っていただき、村への地区要望として提出いただきたいと思います。
227	28 財政・補助制度	01 総務	南	農事集会所を改修する場合の補助制度等あれば教えてください。	集会所は避難所になっており、地域避難施設の整備補助金が活用いただけます。補助の条件は工事費が100万円以上、補助率が50%以内で2,000万円が限度額です。工事費が100万円以内の場合は、地域集会所等公共施設の増改築補助金という制度が活用いただけます。10月末頃に行います、村単補助事業等の地区要望ヒアリングで要望いただきますと次年度の予算計上にて対応させていただきます。
228	28 財政・補助制度	01 総務	上平	避難所にAEDが設置されていません。助成金などで設置することができないですか。	現状では村の補助制度はありません。一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成対象備品となっていますので、申請していただければと思います。9年度分の募集案内はこれから送付させていただきます。ただし、自治総合センターで助成の審査を行うため採択になるとは限りません。
229	28 財政・補助制度	01 総務	伊久間	村の補助事業制度について、補助率、地元負担金軽減等の見直しはできますか。	用水や、団地内道路等使う方が限られる「生活道路」については、受益者がある程度決まるため、従来より地元にご負担をいただいています。地元負担金等については、現在のところ、ただちに見直すという計画はありません。自主防災組織等、地域を対象とした防災関連の補助については、一部補助で山間地（人口の少ない地域）に対して地元負担軽減の対応を行っているという状況です。人口が減ってくると地区の収入が減ってくるため、補助の見直し地域支援にどのような効果があるのか、今後検討してまいりたいと思います。
230	28 財政・補助制度	03 保健福祉	馬場平	子育て支援等にすぐお金をかけておりますが、財政は大丈夫なのでしょうか。	子育て世代を取り込むため、子育て支援事業については重点的に取り組んでおります。財政については、今年度から健康保険料に子育て支援の応分負担が導入されたことにより、国や県、村でバランスを取りつつ進めてまいりますのでご安心いただきたいと思います。
231	28 財政・補助制度	05 企画財政	大島	山の家にクーラーを整備するための補助申請を出しましたが、進捗状況を教えてください。	採択になったので近々連絡させていただきます。この後予算化を行い議会にかける予定です。

232	28 財政・補助制度	06 産業振興	馬場平	物価高騰が理由で農業経営支援事業補助金を交付しているなら、認定農業者も一般農家も補助金は全員一律の金額にするべきではないですか。	認定農業者は、経営改善や規模拡大、農業の効率化等に取り組んでいただいているため、補助金の金額に差をつけています。認定農業者もその他の農家の方にも公平に補助金を交付することが良いと思いますが、その場合は、農家の方も費用を計算したり、提出書類が増える等負担が増えてしまうため、迅速に交付するためにも今回の方法をとっています。ただ、今回ご意見を承りましたので、今後検討していきたいと思います。
233	28 財政・補助制度	07 教委	氏乗	氏乗分教場跡の枝垂れ桜管理について、木を守るために消毒剤を撒く必要があります。氏乗区で薬剤費用10万円程負担をしています。また、管理料として村から5千円をいただいておりますが、増額してもらえないでしょうか。	薬剤の経費については対応させていただきますので散布する前にご相談願います。また、村指定の文化財を管理していただいている方には年5千円をお支払いしていますが、増額等については今後検討させていただきます。
234	29 その他	01 総務	帰牛原	村政懇談会資料が両面印刷のせいか見にくいと感じました。	ご意見ありがとうございます。来年度実施にあたっての参考とさせていただきます。
235	29 その他	01 総務	寺の前	地区に設置しているAEDの更新や電池交換について、村からの支援はないでしょうか。	支援のニーズがどれだけあるか調べたうえで、補助を検討していきたいと思います。
236	29 その他	01 総務	加々須	村長は個人懇談会を開催していると聞いています。村民の意見を聞く事は良いことだと考えてます。	私の名前にちなんで原則として毎月23日の「ふみの日」に村長室解放デーをやっています。是非お越しください。
237	29 その他	01 総務	富田	説明のスピードが速すぎると思います。	ご意見ありがとうございます。来年度の実施にあたり参考とさせていただきます。
238	29 その他	01 総務	田上川	村政懇談会を年3回くらい開催していただきたいと思います。例えば今月は「農政」をテーマにする等論点を絞りつつ行うのはいかがでしょうか。	村政懇談会については、例年その年度の村の主な取り組みをお知らせすること等を目的に行っています。今年度は村長が交代したこともあり全地区を対象に開催しました。ただ、地区の負担感から自治会が複数ある区は1箇所が良いとか、縮小して開催すべきだとかのご意見をいただく一方で、参加者が少ないので自治会単位で開催すべきとかのご意見もいただきます。今回ご提案の回数も含めて、村政懇談会のあり方を含めて区長会で区長の皆様にご意見をお伺いしながら改善を加えていきたいと思っています。
239	29 その他	01 総務	田上川	村政懇談会時の質問に対する返答が噛み合っていないように思います。	ご意見を真摯に受け止めさせていただきます。
240	29 その他	01 総務	田上川	充実した村政懇談会でした。	ご参加ありがとうございます。
241	29 その他	04 建設環境	大和知	地区内の道路に普段見かけない車が停車していました。確認すると森林組合とのことでしたが、不安に思う住民もいるので車に目印になるものをつける等地域住民にわかるようにして欲しいです。	村が直接行うものでないので具体的には承知しておりませんが、ご意見の旨申し伝えます。
242	29 その他	05 企画財政	伊久間	東京都一極集中により都の税収増が見られる中、地方の税収の伸びが乏しい状況にあります。「税収源の偏在を生む是正策」が必要不可欠ではないでしょうか。長野県知事が全国知事会長ですので、「税収源の偏在を生む是正策」を国に提言してはいかがでしょうか。	ご意見として承ります。